

平成 20 年

消防年報

(平成 21 年 刊 行)



毎月 1 日は「市民防災の日」です

直方市消防本部

は し が き

この年報は、直方市消防本部の現勢及び平成20年中の消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお、この年報の統計資料は暦年をもって表しており、予算その他にあつては会計年度で収録しております。

平成 21 年 9 月
直 方 市 消 防 本 部

目 次

直方市の消防

直方市の概況	1
直方市消防の沿革	2
直方市消防本部・消防署の組織	7
直方市消防本部事務分掌	8

総 務

消防本部・消防署	
消防本部・消防署の位置及び管轄区域	11
消防庁舎	11
消防力の基準	
消防力の基準と現有消防力	11
消防決算	
平成20年度消防費決算額	11
人口・世帯数当りの消防費所要額	11
消防職員	
職員の実員	12
職員の配置状況	12
平成20年度の採用と退職	12
職員の勤続年数	12
職員の年齢	12
平成20年度職員の表彰	12
平成20年度職員の研修	13
消防団員	
消防団員の数	14
消防団員の年齢	14
平成20年度消防団員の教育	14
平成20年度消防団員の表彰	14
消防団自動車配置状況	15

予 防

危険物規制	
平成20年度危険物数量別施設状況	16
平成20年度危険物施設の査察状況	16
平成20年度危険物施設別の許可、完成及び廃止状況 ...	16
平成20年度危険物規制事務月別処理件数	17

幼年消防	
幼年消防クラブ	17
建築・査察	
平成20年度防火対象物の現況	18
平成20年度建築同意事務処理件数	19
防火管理者を必要とする事業所状況	20
消防用設備等の設置状況	21
中高層建築物(5階以上)の現況	22

警 防

火災統計	
火災概況	23
消防水利数	23
消防車両保有状況	23
火災概要(前年比)	24
火災統計総括表	25
月別・日別火災発生件数	26
月別・時間別火災発生件数	26
月別・曜日別火災発生件数	27
気象別火災発生件数	28
用途別・月別建物火災の出火件数	29
出火原因別火災発生件数	30
過去5年間の火災件数と損害額及び焼損床面積比較表	31
過去5年間の出火原因別件数	32
救急統計	
救急概況	33
救急出場事故種別概要(前年比)	34
月別出場件数	35
曜日別出場件数	35
時間帯別出場件数	36
現場到着所要時間別出場件数	37
収容所要時間別搬送人員	37
管外出場件数	38
校区別出場件数	39
救急隊員の行った応急処置件数	39
救急救命士による救命処置	39
傷病程度別搬送人員	40
性別搬送人員	41
年齢区分別搬送人員	41
急病にかかる疾病分類別搬送人員	42
不搬送理由別件数	42
傷病程度別搬送人員(65歳以上)	43
急病にかかる疾病分類別搬送人員(65歳以上)	43
過去10年間の救急状況推移	44
救助統計	
救助概況	45
救助隊設置状況	45
救助活動状況	45
過去5年間の救助出場件数	46

直方市の概況

○ 位 置

直方市は、福岡県の北部にあって、遠賀川に沿って開ける筑豊平野のほぼ中央に位置しています。

市の東側は福智山山系で北九州市小倉南区と接し、西側は鞍手郡鞍手町及び宮若市と境を接しています。また、南側は田川郡福智町、飯塚市及び鞍手郡小竹町と、北側は北九州市八幡西区、鞍手郡鞍手町と境を接し、その広ぶうは、東西11.56km、南北9.45km、面積61.78km²なっています。

○ 地 勢

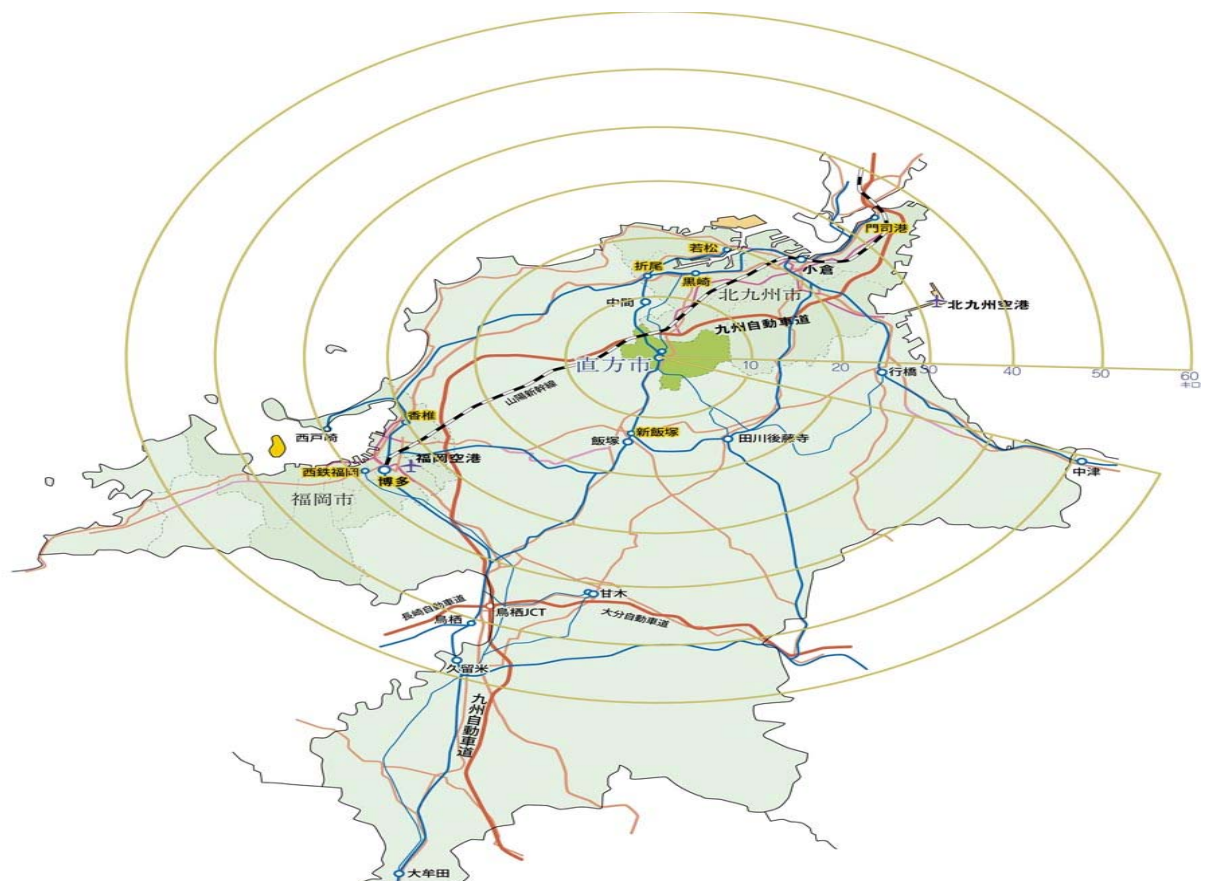
本市の東部には福智山(900.8m)がそびえ、その支脈(平均標高600m)が南北に走っています。

また、西部には六ヶ岳(339m)を中心とした丘陵が北西に広がり、市の中央部は小高い丘を含む比較的平坦な地形になっています。

そして、この中央部を彦山川、犬鳴川などの支流を集めながら遠賀川が北流し、遠賀郡芦屋町で響灘に注いでいます。

本市中心部(市街地)は、この遠賀川とJR福北ゆたか線に挟まれた地帯にあり、東部西部地域は住宅地帯、南部地域は工業地帯、北部地域は農村地帯を中心に形成されています。

直方市の位置



直方市消防の沿革

年 次		主 な で き ご と
昭和23年	2月	福岡県告示第55号 直方消防署設置(管轄区域 直方市内及び鞍手郡一円) 消防庁舎仮庁舎直方警察署内に開設 職員定数31名で発足 消防ポンプ自動車(ダッチ)常備消防隊から引継、(トヨタ(2)・ニッサン)県から3台配置
	3月	直方市告示第34号 直方市消防本部 直方市消防署設置(管轄区域 直方市) 初代消防長、神門庫市氏就任
	5月	田川郡赤池町、鞍手郡小竹町と消防相互応援協定締結
昭和24年	2月	消防署長公舎(直方市下老良)及び署僚公舎(直方市山部1394-5)取得
昭和26年	12月	消防ポンプ自動車(いすず)購入
昭和27年	9月	飯塚市、田川市と消防相互応援協定締結
昭和29年	4月	防火協力会設立発足(外郭団体)
	6月	消防ポンプ自動車(出光号)購入
昭和30年	2月	防火協力会を直方市消防協力会に改称
	3月	管轄区域の変更、鞍手郡植木町を編入 植木水防倉庫譲受(行政区域編入)
	8月	消防職員定数条例改正により34名(3名増員)
昭和31年	6月	消防ポンプ自動車(ニッサン)購入
昭和32年	4月	直方市まとい会設立発足(外郭団体)
昭和33年	3月	水防倉庫建設(直方市下老良5134-6)
	8月	管轄区域の変更、鞍手郡小竹町赤地の一部を編入
	12月	司令車(ウイルス)市水道課から移管
昭和35年	4月	水防管理団体指定
	9月	直鞍地区危険物安全協会設立発足(外郭団体) 福岡県危険物安全協会連合会加盟
	10月	消防庁舎新築落成 司令車(トヨペット)直方市消防協力会から寄贈
昭和36年	1月	消防自動車(ニッサン)日本損害保険協会から寄贈
昭和37年	3月	第二代消防長、那須勉氏就任
昭和38年	2月	北九州市と消防相互応援協定締結
	4月	救急業務開始 救急自動車(ニッサン)市衛生課から受入
	5月	消防職員定数条例改正により41名(7名増員)
昭和39年	3月	水防倉庫移転改築(直方市御館山644-21)
	10月	鞍手郡宮田町と消防相互応援協定締結
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(ニッサン)購入
昭和40年	8月	救急自動車(トヨタ)購入
	12月	鞍手郡鞍手町と消防相互応援協定締結
昭和41年	6月	消防用無線(県内波及び市町村波)整備
	10月	火災報知専用電話(119番)逆探知装置設置
昭和42年	4月	普通乗用車(ニッサンセドリック)直方市消防協力会から寄贈 風向、風速、水量、水圧計購入 植木水防倉庫老朽化のため解体
	6月	筑豊地区消防設備士会直鞍部会設立発足(外郭団体)
	7月	消防職員定数条例改正により42名(1名増員) 直方市消防団事務の移管(市総務課から消防本部企画係(新設)へ)
	11月	屈折はしご付消防ポンプ自動車(いすず)購入
昭和43年	10月	直方市消防団分団統合(16分団から7分団へ)
昭和44年	8月	水槽付消防ポンプ自動車(いすず)購入
	9月	第三代消防長、河村通氏就任
昭和44年	10月	消防署長公舎廃止(地権者賃借契約解約)
	4月	普通乗用車(ニッサンセドリック)市から移管

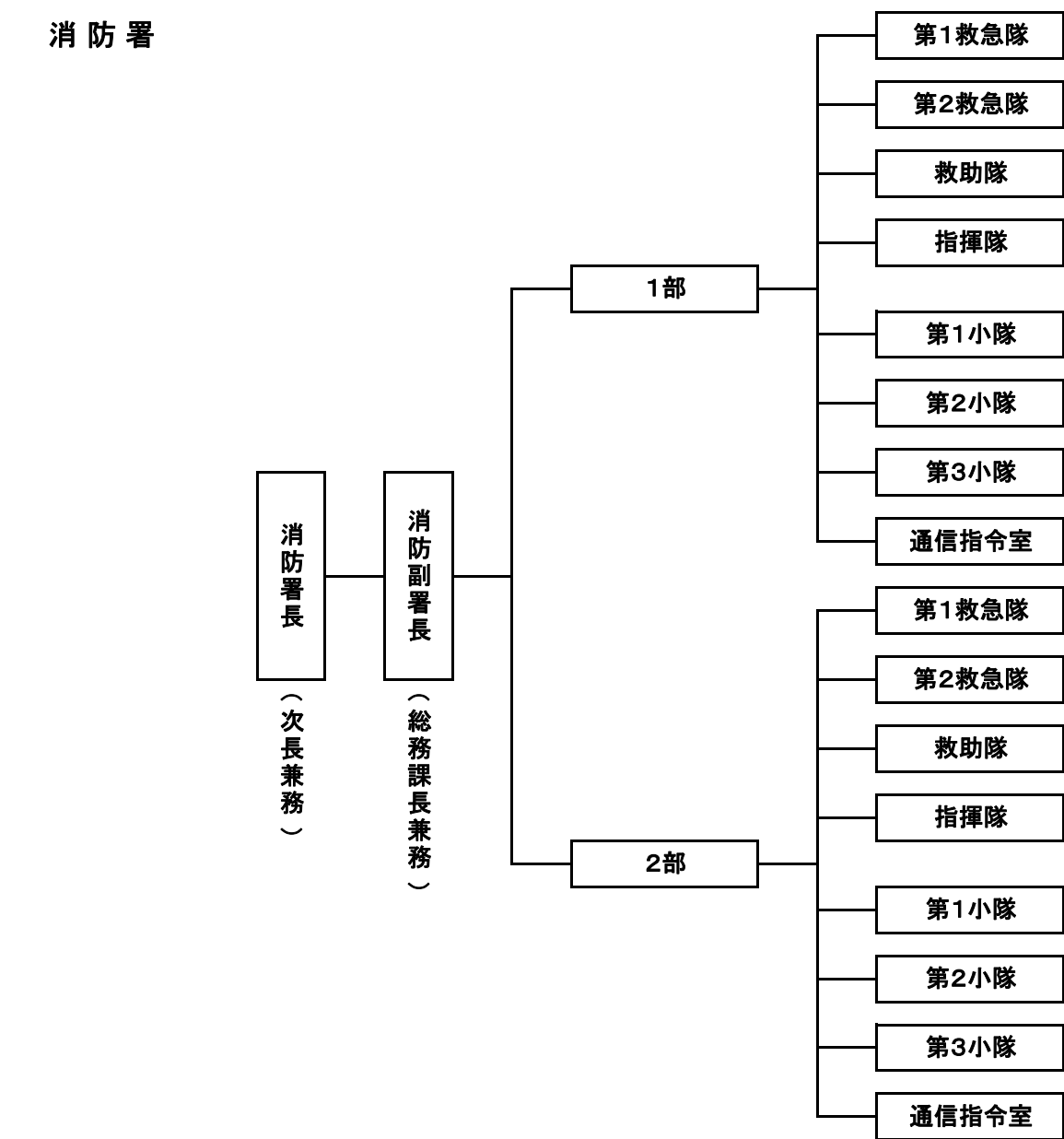
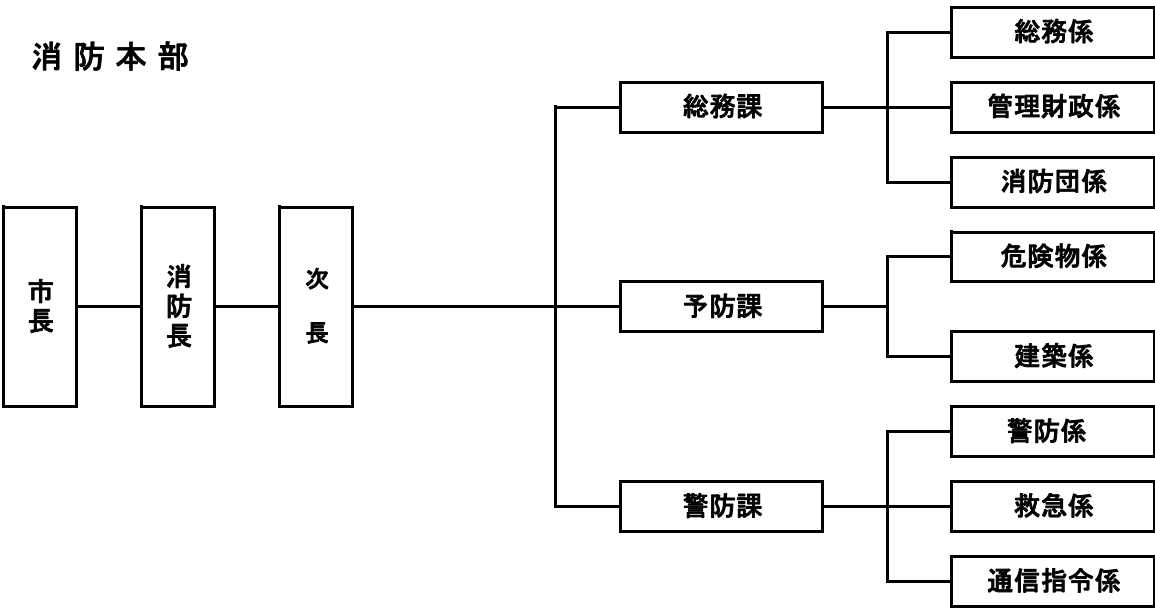
年 次		主 な で き ご と
昭和45年	5月	消防司令車(ニッサンセドリックバン)購入
	12月	査察車(ニッサンサニー)福岡県石油部会直方部会から寄贈
昭和46年	4月	鞍手郡鞍手町小竹町と救急業務相互応援協定締結 超短波無線電話装置に切替え
	5月	折りたたみ式アルミボート(ヤマハ船外機付)購入
昭和47年	1月	望楼監視テレビ設置
	4月	自記温湿度計購入
	6月	折りたたみ式アルミボート(トーハツ船外機付)購入
	7月	消防職員定数条例改正45名(3名増員)
	9月	消防ポンプ自動車(いすず)購入
	10月	筑豊地区消防相互応援協定締結
昭和48年	4月	第四代消防長、福原八郎氏就任
昭和48年	7月	普通乗用車(ニッサンプレジデント)市から移管
	8月	救急自動車(トヨタ)日本消防協会から寄贈 救急自動車2台配備体制確立
昭和49年	6月	直方市消防協力会解散
	12月	「直方市民防災の日」制定:毎月1日
昭和50年	3月	直方鞍手広域市町村圏事務組合と救急事務相互応援協定締結
	6月	第12回福岡県総合防災訓練実施
昭和51年	3月	消防救急指令装置Ⅰ型購入 テレガイド装置5回線運用開始
	4月	救急自動車(トヨタ)日本損害保険協会から寄贈
	12月	査察車(ニッサンサニー)福岡県石油商業組合直方部会から寄贈
昭和52年		消防救助隊屋外訓練施設(市民会館裏)整備
	7月	消防救助隊設置(隊長以下11名)
		水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和54年	6月	「筑豊地区消防設備士会直鞍部会」を「福岡県消防設備安全協会直鞍支部」に改称
	7月	輸送車(トヨタ)購入
	12月	消防署僚公舎廃止(老朽化) 消防職員定数条例改正49名(4名増員)
昭和55年	3月	水防倉庫改築(直方市知古)
	5月	司令車(ニッサンセドリック)購入
	9月	組立式ボート(3人用2隻)購入 病院運用表示盤購入
昭和56年	5月	組立式ボート(3人用1隻)購入
	8月	化学消防ポンプ自動車(日野)購入
	10月	救急自動車(ニッサン)日本消防協会から寄贈
昭和57年	8月	消防ポンプ自動車(いすず)購入
	12月	福岡県防災行政無線導入
昭和58年	12月	はしご付消防ポンプ自動車(日野15m級)購入
昭和59年	3月	望楼監視テレビ廃止
	8月	水難救助隊発足(隊長以下13名)
	11月	査察車(トヨタ)購入
	12月	トーキー音源装置(テレホンガイド)設置による災害情報の市民広報充実
昭和60年	2月	救急自動車(ニッサン)日本損害保険協会から寄贈
昭和61年	4月	第五代消防長、梅津實氏就任
	7月	河川情報システム(端末機)の導入
昭和61年	7月	パーソナルコンピュータの導入
	9月	4週5休制試行・実施
	10月	高速自動車道における消防相互応援協定締結
	2月	事務所集団電話システム化(ビル電話)

年 次		主 な で き ご と
昭和62年	5月	組立式ボート(2人用2隻)購入 司令車(ニッサングロリア)直方ロータリークラブから寄贈
	12月	消防緊急指令装置Ⅱ型購入
昭和63年	2月	水槽付消防ポンプ自動車(日野) 救急自動車(ニッサン) 購入
	4月	4週6休制試行(土曜閉庁:第2、第4土曜1/2方式)
	7月	新消防庁舎用地取得(直方市新町5054-5:1, 477.01平方メートル)
	10月	福岡県防災行政無線ファクシミリの導入
	12月	救急自動車3台配備体制確立
平成元年	2月	地図検索装置購入
	3月	福岡県消防相互応援協定締結(広域航空消防応援協定を含む)
	4月	4週6休制実施
	7月	新消防庁舎起工式実施 救急自動車(いすず)福岡県消防協会から寄贈
	8月	土曜閉庁(第2、第4土曜日)
	9月	消防用無線(全国波)整備
	10月	救助工作車(いすず)日本損害保険協会から寄贈
	12月	輸送車(トヨタ)購入 直方市情報公開条例制定
平成2年	3月	新消防庁舎建設(直方市新町2丁目5-10)
	4月	マイクロバス(ニッサン)市から移管 新消防庁舎落成式 旧消防庁舎閉庁式実施 新消防庁舎業務開始
	5月	連絡車(軽自動車スバル)購入 新消防庁舎開庁式実施
	6月	災害情報等画像転送装置、市総務課から移管 消防庁舎職員駐輪場新設
	9月	直方市情報公開制度開示
	10月	気象情報(観測)収集装置購入
平成2年	12月	消防庁舎車庫(西側)オーバースライダー設置 市役所新庁舎に消防用無線(空中線)設備設置
平成3年	4月	第六代消防長、行實清美氏就任
	5月	第28回福岡県総合防災訓練実施
	8月	消防団広報車(トヨタ)日本消防協会から寄贈
平成4年	3月	救急車(ニッサン3,000cc)購入
	7月	幼年消防クラブ結成式(保育園12園、幼稚園8園:2,519人)
	8月	完全週休2日制(4週8休)実施 8/15～ 3当1休、4当1休併用型 10/10～ 3当1休型
	11月	消防無線救急波複信化運用開始(救急1・2・3号車) 幼年消防クラブ鼓笛セット伝達式(日本防火協会:万福寺さくら保育園) 消防査察車(ニッサンAD1, 500cc級)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	12月	高度救急資機材整備(6点セット) 直方市消防団組織等に関する規則改正
平成5年	4月	直方市消防団組織改正(7分団16部から8分団16部に) 消防用(水防・水難)ゴムボート(1隻)購入
平成5年	5月	消防救助隊訓練施設整備(斜めブリッジ救助用訓練施設)
	9月	救助用資機材(油圧エンジン)整備
平成6年	1月	幼年消防クラブ鼓笛セット伝達式(日本防火協会:下境幼稚園)
	2月	救急自動車(ニッサン)福岡県共済農業組合連合会から寄贈
	4月	移動無線ファックス購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	5月	油圧救助器具用チェーンセット整備

年 次		主 な で き ご と
平成6年	6月	消防庁舎監視用カメラ導入(白黒固定テレビカメラ3台・白黒ビデオ受信機1台) 消防庁舎指令室シャッター設置工事
	7月	蘇生訓練用生体シュミレーター整備
	12月	超短波無線電話装置第1装置更新(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成7年	3月	消防庁舎環境整備事業 [庁舎西側(浄化槽上)の舗装、浴室ガス給湯器取替え、待機室畳張替え、塗装] 消防自動車(消防3号車)購入(自動昇降装置付電動ホースレイヤー装備)
	4月	福岡県消防設備安全協会直轄支部の事務局に関する会則改正
	8月	携帯・自動車電話機の整備
	10月	化学防護服の整備
	12月	非常順次通報装置、防火衣の整備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成8年	1月	講堂兼体育館に暖房施設(ストーブ2台) 消防長専用公用車の配置(市議会事務局より移管)
	3月	高規格救急車購入(高度救急資機材整備9点セット、自動車電話)
	4月	消防職員定数条例改正53名(4名増員) 向野敏昭助役、消防長事務取扱いに就任 直方市消防吏員服制規則を改正、キャップ式略帽を採用 26人乗りマイクロバス配置(市建設部より移管)
	7月	消防職員定数条例改正54名(1名増員) 第七代消防長、安田英人氏就任(建設部次長から) 伝送用携帯電話及びファックスの整備
	10月	直方市消防本部消防職員委員会に関する規則の制定(消防職員委員会制度の発足) 第1回直方市自衛消防隊操法大会実施(7チーム) 119番通報訓練装置購入
	11月	オゾン殺菌紫外線殺菌機ロッカー設置 福岡県震度情報ネットワークシステム(福岡県事業)、震度計設置
	12月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(消防2号車)購入 防火衣の整備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成9年	3月	指揮車購入
	4月	第八代消防長、藤永誠一氏就任(市民福祉部保護課長から) 直方市消防本部組織規則の一部改正(係名、部変更及び分掌事務見直し実施)
	5月	連絡車購入
	7月	直方市消防団に女性団員10名任命 消防庁舎防水工事施工
	8月	福岡県知事から感謝状(自治体消防50年記念)
	10月	救命ボート(船外機付)購入 第2回直方市自衛消防隊操法大会実施(9チーム)
	11月	15人乗りマイクロバス配置(失業対策課より移管) 輸送車購入
	12月	空気呼吸器(3セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成10年	3月	消防庁舎環境整備事業(更衣室床張り)
平成10年	3月	高規格救急車購入(高度救命用資機材整備10点、自動車電話及びFAX)
	8月	救急救命士による救急業務運用開始
	11月	福岡県防災・行政情報通信ネットワーク衛星系回線の暫定運用開始 福岡県防災行政無線及び無線ファクシミリの廃止 心電図電送装置及び半自動徐細動器購入
	12月	空気呼吸器(1セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成11年	2月	はしご付消防自動車(日野30m級)購入
	11月	ラインプロポーショナー泡ノズル(16式)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)

年 次		主 な で き ご と
平成12年	1月	水槽付消防ポンプ自動車(日野水Ⅰ-B型)購入
	3月	消防緊急通信指令施設(富士通ゼネラル)運用開始 (指令装置Ⅰ型、支援情報検索処理装置、地図等検索装置、発信地表示装置)
		消防団緊急伝達システム運用開始
		無線指揮車(ニッサン)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月	第九代消防長、舌間英規氏就任(直方・鞍手広域市町村圏事務組合事務局長から)
	7月	高規格救急車(救急1号車)及び高度救命処置用資機材購入
平成13年	1月	空気呼吸器(3セット)携帯無線機(5W:10台)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成14年	1月	空気呼吸器(1セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 防火衣ズボン(54本)編上げゴム長靴(54足)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		小型動力ポンプ付水槽車(日野Ⅰ型)購入
	2月	第十代消防長、田村耕造氏就任
	4月	空気呼吸器(4セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) ラインプロポーショナー(2式)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		消防用ホース50mm(32本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成15年	11月	救助用資機材(酸素溶断機)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成16年	1月	救助用資機材(ペダルカッター・ドアオープナー)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 広報車購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		消防用ホース50mm(20本)、65mm(10本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	2月	防火水槽の整備(防災基盤整備事業)
	3月	資機材搬送車(三菱・キャンター)購入
平成17年	3月	救助用資機材(マット型空気ジャッキ)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 消防用ホース50mm(28本)、65mm(52本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		第十一代消防長、林友治氏就任
	4月	AED1台及びトレーニングシステム購入
	7月	携帯電話119直接受信運用開始
	11月	連絡車2(ニッサン)市から移管
平成18	12月	連絡車2(ニッサン)市から移管
	2月	高規格救急車(救急3号車)及び高度救命処置用資機材購入
	3月	消防用ホース50mm(16本)、65mm(32本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 救助用支柱器具及び切断器具購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		救助工作車Ⅱ型購入
	4月	第十二代消防長、岡本義次氏就任
	10月	AED1台購入
平成19年	8月	防火衣30着購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 全自動高圧蒸気滅菌器購入
平成21年	2月	呼吸器外装型気密服、エアライン外購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	はしご付消防自動車(日野30m級)オーバーホール

直方市消防本部・消防署の組織



直方市消防本部事務分掌

総務課

総務係

- (1) 消防本部事業の総合調整に関する事。
- (2) 職員の任免、服務等その他身分に関する事。
- (3) 職員の人事及び研修に関する事。
- (4) 職員の公務災害補償に関する事。
- (5) 職員の表彰及び団員の表彰（消防協会に係るものを除く。）に関する事。
- (6) 文書管理及び公印管理に関する事。
- (7) 条例、規則等の例規管理に関する事。
- (8) 消防力の整備に関する事。
- (9) 消防史及び沿革等の記録に関する事。
- (10) 消防年報、統計調査等に関する事。
- (11) 消防長会に関する事。
- (12) 消防職員委員会に関する事。
- (13) 安全衛生委員会に関する事。
- (14) 直方市まとい会に関する事。
- (15) 他の課又は他の係に属さない事務に関する事。

管理財政係

- (1) 消防本部事務事業計画の企画に関する事。
- (2) 消防本部の予算及び決算に関する事。
- (3) 職員の給与、手当等に関する事。
- (4) 職員の学校教育に関する事。
- (5) 被服、貸与品、共済及び福利厚生に関する事。
- (6) 庁舎の維持管理及び備品等の管理に関する事。
- (7) 補助金、交付金等に関する事。
- (8) 財産の管理に関する事。
- (9) その他財政に関する事。

消防団係

- (1) 消防団の予算及び決算に関する事。
- (2) 消防団員の任免、報酬及び費用弁償等に関する事。
- (3) 消防団員の報償及び公務災害補償に関する事。
- (4) 消防団員の服制等の貸与品に関する事。
- (5) 消防団施設及び機械器具等の維持管理に関する事。
- (6) 消防団員の教養、研修及び学校教育に関する事。
- (7) 消防団の儀式、行事及び訓練等に関する事。

- (8) 消防協会に關すること。
- (9) その他消防団に關すること。

予 防 課

危険物係

- (1) 危険物の規制事務に關すること。
- (2) 危険物施設等の予防査察に關すること。
- (3) 危険物施設等の違反是正に關すること。
- (4) 危険物施設等の自衛消防隊の育成指導に關すること。
- (5) 危険物施設等の統計に關すること。
- (6) 少量危険物等及び指定可燃物に關すること。
- (7) 液化石油ガス等の意見書の交付及び届出等に關すること。
- (8) 圧縮アセチレンガス等の届出に關すること。
- (9) 火氣使用設備等及び電気設備等に關すること。
- (10) 危険物施設等の事故調査に關すること。
- (11) 危険物安全協会に關すること。
- (12) 火災予防運動に關すること。
- (13) 幼年消防クラブに關すること。
- (14) その他危険物に關すること。

建築係

- (1) 建築許可等の同意等に關すること。
- (2) 消防用設備等に關すること。
- (3) 建築物（防火対象物）の予防査察に關すること。
- (4) 建築物（防火対象物）の違反是正に關すること。
- (5) 防火管理に關すること。
- (6) 建築物（防火対象物）の統計に關すること。
- (7) 事業所における防火訓練指導及び自衛消防隊の育成指導に關すること。
- (8) 消防の予防広報、住宅防火及び防火思想の普及宣伝に關すること。
- (9) 旅館等の意見書交付に關すること。
- (10) 建築物（防火対象物）の使用開始等に關すること。
- (11) 即時通報に關すること。
- (12) 消防設備安全協会に關すること。
- (13) その他建築に關すること。

警 防 課

警防係

- (1) 災害の警戒警備（消防特別警戒等を含む。）に関する事。
- (2) 災害の原因及び損害の調査に関する事。
- (3) 災害の罹災証明に関する事。
- (4) 警防計画、水防計画に関する事。
- (5) 総合的災害演習及び各個別訓練の計画並びに安全管理に関する事。（救急に係るものを除く。）
- (6) 消防相互応援協定に関する事。
- (7) 火災警報及び火の使用の制限に関する事。
- (8) 林野火入れ許可に関する事。
- (9) 救助に関する事。
- (10) 消防車両及び機械器具等の整備、運用及び維持管理に関する事。（救急に係るものを除く。）
- (11) 災害状況の報告及び災害の統計に関する事。（救急に係るものを除く。）
- (12) 水利の整備及び維持管理並びに開発行為に関する事。
- (13) 国民保護及び災害時要援護者等の対策に関する事。
- (14) 機関員の養成に関する事。
- (15) 火災予防条例の規定に基づく各種届出（予防課に係るものを除く。）に関する事。
- (16) その他警防及び防災に関する事。

救急係

- (1) 救急車及び救急処置用資器材等の整備、運用及び維持管理に関する事。
- (2) 救急医療機関及び関係機関との連絡調整に関する事。
- (3) 救急訓練及び安全衛生管理に関する事。
- (4) 救急隊員の教育、研修等に関する事。
- (5) 救急に関する行事の企画に関する事。
- (6) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (7) 救急統計に関する事。
- (8) 患者等搬送事業に関する事。
- (9) 救急搬送証明に関する事。
- (10) その他救急に関する事。

通信指令係

- (1) 火災及び救急等の受信並びに出動指令に関する事。
- (2) 気象観測及び気象情報の収集に関する事。
- (3) 火災及び救急等の情報収集並びに連絡調整に関する事。
- (4) 消防通信の運用、整備及び保守管理に関する事。
- (5) 消防緊急通信指令施設の整備及び保守管理に関する事。
- (6) 災害等の広報に関する事。
- (8) 職員の非常招集に関する事。
- (9) 防災関係機関との連絡調整に関する事。

総務



はしご付消防自動車のバスケットから撮影した車両

消防本部・消防署の位置及び管轄区域

名称	位置	管轄区域
直方市消防本部 直方市消防署	直方市新町2丁目5番10号	直方市一円

消防庁舎

	敷地面積	床面積(1F)	床面積(2F)	床面積(3F)	延面積	建築年月日
直方市消防本部 直方市消防署	1,847.22 m ²	643.95 m ²	673.39 m ²	333.69 m ²	1,658.85 m ²	H2. 3. 31

消防力の基準と現有消防力

区分	車両			人員		
	基準数	現有数	不足数	現有車両等に対する基準数	現有数	不足数 現有車両等に対する数
署所の数	2	1	1	①	②	①－②
消防ポンプ自動車	4	2	2	30	30	0
はしご自動車	1	1	0	15	0	15
化学消防自動車	1	1	0	乗換運用	0	0
指揮車	1	1	0	9	3	6
水槽車(特殊車)	—	(1)	—	6	4	2
救急自動車	3	3	0	27	9	18
救助工作車	1	1	0	15	0	15
小計 ア	11	9(1)	2	102	46	56
通信員	—	—	—	6	6	0
庶務の処理等の人員	—	—	—	2	2	0
予防要員	—	—	—	10	0	10
小計 イ	—	—	—	18	8	10
合計 ア＋イ	11	9(1)	2	120	54	66

※条例定数 54名

平成 20 年度消防費決算額

(単位:円)

区分	予算額		計	支出済額	繰越明許
	当初予算	補正予算額			
常備消防費	464,425,000	△11,395,000	453,030,000	447,517,434	
非常備消防費	43,725,000	4,507,000	48,232,000	44,830,830	
消防施設費	6,618,000	27,838,000	34,456,000	6,395,385	27,838,000
水防費	208,000		208,000	158,352	
計	514,976,000	20,950,000	535,926,000	498,902,001	27,838,000

人口・世帯数当りの消防費所要額

(平成21年3月31日現在)

項目 年度	1人当り消防費	1世帯当り消防費	算定の基礎	
			人口	世帯数
平成20年度	8,424 円	19,453 円	59,223 人	25,646 世帯

職員の実員

(平成21年4月1日現在)

階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
実員	1	1	3	12	23	2	12	54

※条例定数 54人

職員の配置状況

(平成21年4月1日現在)

役職	消防長	次長	課長	係長	係員					計
職名	理事	統括参事	参事	参事補	主査	主査補	主任	主事	主事補	
実員	1	1	3	10	4	9	18	4	4	54

平成20年度職員の採用と退職

区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
採用							3	3
定年退職等		1		1	1		1	4

職員の勤続年数

(平成21年4月1日現在)

階級 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
5年未満							11	11
5年以上10年未満					4		1	5
10年以上15年未満					12	1		13
15年以上20年未満				2	3	1		6
20年以上25年未満					2			2
25年以上30年未満		1	1	5	1			8
30年以上	1		2	5	1			9
計	1	1	3	12	23	2	12	54

職員の年齢

(平成21年4月1日現在)

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18～20							5	5
21～25							5	5
26～30					2		2	4
31～35					11	2		13
36～40				1	5			6
41～45				2	3			5
46～50		1	1	1				3
51～55				5	2			7
56～60	1		2	3				6
計	1	1	3	12	23	2	12	54

平成20年度職員の表彰

区分	消防庁長官	全国消防長会会長	県知事
永年勤続功労等	1	1	3

平成20年度職員の研修

研修機関	研修内容	人数
福岡県消防学校	初任教育(第116回2名、第117回1名)	3
	水難救助教育(第18回)	2
	救急科(第16回2名、第17回3名)	5
北九州市消防局 訓練研修センター	違反処理研修会	1
救急救命九州研修所	薬剤投与研修	1
飯塚病院	病院実務研修(就業前研修)	1
	病院実務研修(気管挿管)	1
	病院実務研修(薬剤投与)	1
	病院実務研修(救急科)	5
	病院実務研修(救命士再研修)	3
	筑豊地域救命救急研究会救急研究部会	15
	筑豊地域救命救急研究会作業部会	8
	救急活動事後検証	4
福岡市民防災センター	救助事例研究会	2
その他	予防技術検定	3
	新規採用職員研修	3
	安全運転管理者講習会	2
	救急研修会(感染防止)	31
	同和研修会	44
	惨事ストレスセミナー	1
	テロ災害に関する実務セミナー	1
	外傷セミナー	1
	救急隊員研修会	9
	福岡県救急医学会	2
	福岡県予防事務担当者研修会	1
	市町村等防災担当職員研修会	1
	危険物実務研修会	2
	消防救急デジタル化無線整備技術研修会	2
	筑豊地区通信担当者研修会	2
	高速自動車道福岡県消防連絡協議会北部地区研修会	2
	玉掛け技能講習	2
	小型移動式クレーン運転技能講習	2
	福岡県消防相互応援協定消防連絡協議会研修会	1

消防団員の数（条例定数 285 人）

（平成21年4月1日現在）

所属	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本 部	1	2					10(女性団員)	13
1分団	1部			1	1	3	9	14
	2部		1		1	3	10	15
2分団	1部			1	1	3	11	16
	2部		1		1	3	12	17
3分団	1部		1		1	3	11	16
	2部			1	1	3	11	16
4分団	1部			1	1	3	10	15
	2部		1		1	3	8	13
5分団	1部			1	1	3	11	16
	2部		1		1	3	12	17
6分団	1部			1	1	3	11	16
	2部		1		1	3	12	17
7分団	1部			1	1	3	10	15
	2部		1		1	3	12	17
8分団	1部		1		1	3	10	15
	2部			1	1	3	9	14
計	1	2	8	8	16	48	179	262

消防団員の年齢

（平成21年4月1日現在）

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
18～20								0
21～25							23	23
26～30						1	25	26
31～35						3	44	47
36～40					2	2	33	37
41～45				1		7	18	26
46～50				1	5	12	19	37
51～55			2	3	3	14	12	34
56～60			3	1	4	6	4	18
61～65	1	2	3	2	2	3	1	14
計	1	2	8	8	16	48	179	262

平成20年度消防団員の教育

区分	教育場所	教育種別	人員
学校教育	福岡県消防学校	基礎教育科	10

平成20年度消防団員の表彰

区分	福岡県知事	日本消防協会	福岡県消防協会
永年勤続功労	4		31
功 績 賞		1	
精 績 賞		2	
勤 続 章		3	
優 良 団 員			13

消防団自動車配置状況

(平成21年4月1日現在)

所属	種別	車名	排気量cc	年式	ポンプ名	備考
本部	広報車	ホンダ	1490	2004		
	多機能車	いすゞ	2990	2008	B2級	
1分団1部	CD-I型	いすゞ	4770	2003	A2級	
1分団2部	CD-I型	いすゞ	4570	2001	A2級	
2分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	1996	A2級	
2分団2部	CD-I型	いすゞ	4330	1993	A2級	
3分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	1995	A2級	
3分団2部	CD-I型	いすゞ	4570	2000	A2級	
4分団1部	CD-I型	三菱	5240	2003	A2級	
4分団2部	CD-I型	いすゞ	4770	2004	A2級	
5分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	2001	A2級	
5分団2部	CD-I型	いすゞ	4570	1997	A2級	
6分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	1998	A2級	
6分団2部	CD-I型	いすゞ	4770	2005	A2級	
7分団1部	CD-I型	いすゞ	4330	1994	A2級	
7分団2部	CD-I型	いすゞ	4330	1992	A2級	
8分団1部	CD-I型	いすゞ	4570	2000	A2級	
8分団2部	CD-I型	いすゞ	4770	2005	A2級	

予防



高規格救急自動車と車内

平成20年度危険物数量別施設状況

区分	貯蔵所						取扱所				計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般	
								1種	2種		
計	34	30	2	32	27	4	34	0	3	25	191
5 倍以下のもの (A)	23	5	2	19	21	1	1			7	79
5 倍を超え (B) 10 倍以下のもの	3	9		4		3	2			10	31
10 倍を超え (C) 50 倍以下のもの	7	9		9	3		8		3	8	47
50 倍を超え (D) 100 倍以下のもの	1	1			3		3				8
100 倍を超え (E) 150 倍以下のもの		3					5				8
150 倍を超え (F) 200 倍以下のもの		1					5				6
200 倍を超え (G) 1000 倍以下のもの		2					10				12
1000 倍を (H) 超えるもの											0

平成20年度危険物施設の査察状況

区分	貯蔵所						取扱所				少量等	計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般		
								1種	2種			
査察数	34	20	2	33	28	4	32		3	20		176

平成20年度危険物施設別の許可、完成及び廃止状況

区分 種別		貯蔵所						取扱所				計
		屋 内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般	
									1種	2種		
設 置	許可	1									1	2
	完成	1						1				2
変 更	許可	1			2	2		4			2	11
	完成	1	2		2	2		4			2	13
廃止		3			3	7		2			3	18

平成20年度危険物規制事務月別処理件数

種別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
許可	設置許可						1				1			2
	変更許可	4		1	4			1	1					11
	設置完成検査		1										1	2
	変更完成検査	4	2		5				2					13
	完成検査前検査	1			1		1	1						4
	仮使用承認	4		1	2			1	1					9
	予防規定			2	2				1					5
小計		13	3	4	14	0	2	3	5	0	1	0	1	46
届出等	譲渡引渡届			1										1
	品名数量倍数変更届		1									1		2
	廃止届	1		1	4		1		6		4		1	18
	保安監督者選解任届		2	4	3	2	2		2	1	1	2	1	20
	資料提出書	1	2	2	2	1	2	3	1	3	1	2	3	23
	記載事項変更届	2	2		1			1	2	2	1		1	12
	使用休止再開届			2				1	2				1	6
	災害発生届													0
	完成検査済証再交付				1								1	2
	許可証等再交付												1	1
	圧縮アセチレンガス等届		1			2	4	4	1	3	1			16
	少量危険物等届			5	1	3			1	3	2	2	1	18
	少量危険物等廃止届		1			3	6	1		2		3	1	17
	少量危険物等変更届	1	1								1			3
小計		5	10	15	12	11	15	10	15	14	11	10	11	139
合計		18	13	19	26	11	17	13	20	14	12	10	12	185

幼年消防クラブ

幼年期から正しい防火の知識を身につけ、各種活動を通して自主協調の精神を養うことを目的として、幼稚園・保育園単位で結成された地域に根ざした活動を行っています。

クラブ名	設立年月日	クラブ名	設立年月日
大和幼稚園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	西徳寺保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1
下境幼稚園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	直方市立植木保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1
西徳寺幼稚園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	万福寺さくら保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1
頓野幼稚園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	丸山保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1
平和幼稚園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	新生第二保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1
新入幼稚園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	新生第一保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1
ポッポ保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	感田保育園幼年消防クラブ	H3. 12. 1
おんがの保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	清光寺幼稚園幼年消防クラブ	H3. 12. 1
直方市立中央保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1	浄福寺幼稚園幼年消防クラブ	H3. 12. 1
新入ひまわり保育園幼年消防クラブ	H3. 9. 1		

(平成21年3月31日現在)

平成20年度 防火対象物の現況

用途			区分	防火対象物数	事業所数	査察件数
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等		1	1	
	ロ	公会堂・集会場		46	44	
(2)	イ	キャバレー・カフェ等		1	1	
	ロ	遊技場・ダンスホール		8	8	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等		2	2	3
(3)	イ	待合・料理店等		4	4	1
	ロ	飲食店		32	32	
(4)		百貨店・マーケット等		130	127	10
(5)	イ	旅館・ホテル等		9	7	
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅		394	254	2
(6)	イ	病院・診療所・助産所		55	50	19
	ロ	福祉施設等		71	49	1
	ハ	幼稚園・盲学校等		24	13	
(7)		小学校・中学校等		107	29	
(8)		図書館・博物館・美術館等		5	3	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		2	2	
	ロ	イ以外の公衆浴場等		2		
(10)		車両の停車場等		1	1	
(11)		神社・寺院・教会等		58	38	
(12)	イ	工場・作業場		395	289	1
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫・駐車場		47	25	
	ロ	飛行機等の格納庫				
(14)		倉庫		219	115	
(15)		前各項に該当しない事業場		293	174	2
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)		220	212	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		106	96	
(16の2)		地下街				
(16の3)		準地下街				
(17)		文化財				
(18)		アーケード		4	4	
(19)		市町村長の指定する山林				
(20)		総務省令で定める舟車				
合 計				2236	1580	43

平成20年度 建築同意事務処理件数

用途			区分	新築	増築	計
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等				
	ロ	公会堂・集会場		1		1
(2)	イ	キャバレー・カフェー等				
	ロ	遊技場・ダンスホール		3		3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等				
(3)	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店		2	1	3
(4)		百貨店・マーケット等		9		9
(5)	イ	旅館・ホテル等				
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		9		9
(6)	イ	病院・診療所・助産所		1	1	2
	ロ	福祉施設等		6	1	7
	ハ	幼稚園・盲学校等		1		1
(7)		小学校・中学校等		1		1
(8)		図書館・博物館・美術館等				
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等				
	ロ	イ以外の公衆浴場等				
(10)		車両の停車場等				
(11)		神社・寺院・教会等			1	1
(12)	イ	工場・作業場		8		8
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫・駐車場		4		4
	ロ	飛行機等の格納庫				
(14)		倉庫		4		4
(15)		前各項に該当しない事業場		9	2	11
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)		1		1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物				
(18)		アーケード				
専 用 住 宅 等				31	2	33
合 計				90	8	98

平成20年度 防火管理者を必要とする事業所状況

用途			事業所数	防火管理者の必要な事業所		
				甲種	乙種	計
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1	1		1
	ロ	公会堂・集会場	44	15	29	44
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	1	1		1
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	8		8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等	2	1	1	2
(3)	イ	待合・料理店等	4	3	1	4
	ロ	飲食店	32	10	18	28
(4)		百貨店・マーケット等	127	72	15	87
(5)	イ	旅館・ホテル等	7	5		5
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	254	33	7	40
(6)	イ	病院・診療所・助産所	50	16		16
	ロ	福祉施設等	49	36	2	38
	ハ	幼稚園・盲学校等	13	11		11
(7)		小学校・中学校等	29	26	2	28
(8)		図書館・博物館・美術館等	3	3		3
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2		2	2
	ロ	イ以外の公衆浴場等				
(10)		車両の停車場等	1			
(11)		神社・寺院・教会等	38	20	4	24
(12)	イ	工場・作業場	289	32	1	33
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	25			
	ロ	飛行機等の格納庫				
(14)		倉庫	115	4		4
(15)		前各項に該当しない事業場	174	31	7	38
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	212	71	22	93
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	96	13	2	15
合 計			1576	412	113	525

平成20年度 消防用設備等の設置状況

区分 用途			消火設備				警報設備		避難設備		連 結 送 水 管
			屋内 消火 栓設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 等 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1				1	1		1	
	ロ	公会堂・集会場	4				15	15	4	16	
(2)	イ	キャバレー・カフェー等					1			1	
	ロ	遊技場・ダンスホール	3				8	6	2	8	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等					1	1		2	
(3)	イ	待合・料理店等					3		1	4	
	ロ	飲食店					9	12	4	28	
(4)		百貨店・マーケット等	3	4	2	3	74	15	2	93	1
(5)	イ	旅館・ホテル等	1				7	1	4	7	1
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	2		1		35	17	21	1	10
(6)	イ	病院・診療所・助産所	3	5	1		36	11	6	52	1
	ロ	福祉施設等	2	11	1		52	5	7	61	
	ハ	幼稚園・盲学校等	3				17	2	1	17	
(7)		小学校・中学校等	25				73	25	9		
(8)		図書館・博物館・美術館等					3	2		1	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					2			2	
	ロ	イ以外の公衆浴場等					1	1		2	
(10)		車両の停車場等									
(11)		神社・寺院・教会等	1				3	26	2	3	
(12)	イ	工場・作業場	45		7	19	151	2	1	15	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
(13)	イ	自動車車庫・駐車場			5		7			1	
	ロ	飛行機等の格納庫									
(14)		倉庫	14		2	9	66			13	
(15)		前各項に該当しない事業場	14	1	11	2	43	18	7	26	1
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	3	1	2		56	22	24	96	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2				5	5	8	7	2
(18)		アーケード									4
合 計			126	22	32	33	669	187	103	457	22

平成20年度 中高層建築物

用途			階数	5階	6階	7階	8階	9階	10階	計
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等								
	ロ	公会堂・集会場								
(2)	イ	キャバレー・カフェー等								
	ロ	遊技場・ダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
(3)	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店								
(4)		百貨店・マーケット等		2						2
(5)	イ	旅館・ホテル等		1		1				2
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅		64	5	1	2	2	3	77
(6)	イ	病院・診療所・助産所			1					1
	ロ	福祉施設等			1					1
	ハ	幼稚園・盲学校等								
(7)		小学校・中学校等								
(8)		図書館・博物館・美術館等								
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場等								
(10)		車両の停車場等								
(11)		神社・寺院・教会等								
(12)	イ	工場・作業場								
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
(13)	イ	自動車車庫・駐車場								
	ロ	飛行機等の格納庫								
(14)		倉庫								
(15)		前各項に該当しない事業場		5				1		6
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)		5	3	1	2			11
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1	1	1	2			5
合 計				78	11	4	6	3	3	105

警防



救助工作車と積載資機材

1 火災概況

1. 火災発生状況

平成 20 年中の火災発生件数は 15 件であり、前年に比べ 2 件増加している。

火災種別ごとの内訳は、建物火災 12 件、車両火災 3 件で、建物火災の約半数が全焼火災となっている。

2. 火災の損害状況

建物の焼損床面積は 839 m²、焼損表面積は 104 m²で前年と比較すると焼損床面積は 588 m²の減少、焼損表面積は 27 m²の減少となっている。

火災による損害額は、49,000 千円であり、前年の 150,842 千円に比べ 101,842 千円減少している。これは、前年に比べ店舗等の火災（焼失面積）の減少によるもので、建物損害及び収容物損害共に減少したためである。

罹災世帯及び罹災人員については、本年は 11 世帯 25 人で、前年より 1 世帯 1 人減少した。

3. 出火原因

本年の出火原因は、電気配線が 2 件で、放火（疑いを含む）、コンロ、石油ストーブ、たばこの不始末、焚き火、電気ストーブ、薪ストーブ、スパークがそれぞれ 1 件で、不明が 5 件となっている。

本年は、人為的要因に起因する火災が大半を占めており、今後住民に対する防火意識の高揚と予防行政の一層の強化が必要である。

4. 死傷者数

死傷者は、死者 1 人であり、前年より 1 人増加している。

また、負傷者は 2 人であり、前年と同数となっている。

2 消防水利数(平成21年4月1日現在)

消火栓

口径mm	75	100	150	200	250	300	350	400以上	計
個数	190	511	300	92	38	38	11	22	1,202

防火水槽

容量	40 m ³ 未満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	100 m ³ 以上	計
個数	20	284	6	2	312

その他水利

種別	プール	井戸等	計
個数	21	5	26

3 消防車両保有状況

(平成21年4月1日現在)

所属	種別	車名	排気量 cc	年式	ポンプ名	備考
消防署	タンク車	日野	7,961	2000	A2級	I-B 型
	化学車	日野	7,961	1996	A2級	II 型
	ポンプ車	いすゞ	4,330	1995	A2級	CD-I 型動力ホースカー付
	水槽車	日野	7,960	2002	B3級	I 型 小型動力ポンプ付
	はしご車	日野	20,781	1999		30m 級
	救助工作車	日野	6,400	2006		救助工作車 II 型
	救急1号車	トヨタ	3,378	2000		高規格車両
	救急2号車	トヨタ	3,378	1998		〃
	救急3号車	トヨタ	3,370	2006		〃
	指揮車	トヨタ	1,990	1997		
	査察車	ニッサン	1,497	2000		
	輸送車	ニッサン	3,150	1997		
	資機材搬送車	三菱	5,240	2004		
	連絡車	三菱	650	1997		
	連絡車2	ニッサン	1,497	1992		

火 災 概 要 （前年比）

（△印は減）

区 分 \ 年 別		平成20年	平成19年	比 較
火 災 件 数（件）		15	13	2
内 訳	建 物	12	9	3
	林 野	0	0	0
	車 両	3	4	△ 1
	そ の 他	0	0	0
総 損 害 額（千 円）		49,000	150,842	△ 101,842
内 訳	建 物	48,866	140,847	△ 91,981
	林 野	0	0	0
	車 両	134	9,995	△ 9,861
	そ の 他	0	0	0
建 物 焼 損 面 積(m ²)		839 (104)	1,427 (131)	△ 588 (△27)
林 野 焼 損 面 積(a)		0	0	0
焼 損 棟 数(棟)		17	14	3
り 災 世 帯 数(世 帯)		11	12	△ 1
り 災 人 員 数(人)		25	26	△ 1
死 者 数(人)		1	0	1
負 傷 者 数(人)		2	2	0
直 方 市 の 人 口(人)		59,267	59,374	△ 107
直 方 市 の 世 帯 数(世 帯)		25,591	25,318	273
市 民 一 人 当 り 損 害 額(円)		826	2,540	△ 1,714
市 民 一 世 帯 当 り 損 害 額(円)		1,914	5,957	△ 4,043
火 災 一 件 当 り 損 害 額(千 円)		3,266	11,603	△ 8,337
一 日 平 均	火 災 発 生 件 数(件)	0.04	0.03	0.01
	焼 損 棟 数(棟)	0.04	0.03	0.01
	焼 損 面 積(m ²)	2.29	3.90	△ 1.61
	り 災 人 員(人)	0.06	0.07	△ 0.01
出 火 率(件/1万人)		2.5	2.2	0.3

（注）

- 1 建物焼損面積は、床面積を表し、()は、表面積を表す。
表面積とは、建物の焼損が内壁、天井、床板等部分的なものをいう。
- 2 出火率とは、人口1万人当りの出火件数である。
- 3 平成19年出火率の全国平均は、4.3である。（平成20年 消防白書調べ）
- 4 人口、世帯数は、平成20年12月末日現在のものである。

火災統計総括表

(単位＝件・㎡・千円)

区分 月別	件数					建物火災																	その他火災						死傷者		総 損 害 額		
	総 件 数	内 訳				件 数	内 訳		り災むね数								り災世帯			り 災 人 員	焼 損 面 積	損 害 額	件 数	内 訳					損 害 額	死 者		負 傷 者	
		放火（疑いを含む）	失火	不明	その他の		火元	延焼	住家				非住家				全	半	小					林野	車両	船舶	航空機	その他					
									全	半	部	ぼ	全	半	部	ぼ																	
計	15	1	6	5	3	12	13	4	3		4	2	5		3		4	1	6	25	839	(104)	48,866	3	0	3	0	0	0	134	1	2	49,000
1	1		1			1	1				1								1	2	16		525	0								525	
2	2		1		1	1	1		1								1			1	224		9,028	1		1				90	1		9,118
3	1		1			1	1					1							1	2		(4)	43	0								43	
4	2		1	1		2	2				2								2	5	10	(2)	884	0								884	
5	0					0																		0									
6	2		2			2	3	1					2		2						51	(42)	1,770	0									1,770
7	1				1	1	1							1								(55)	7,819	0									7,819
8	3			3		2	2	1			1		2					1		1	176		4,173	1		1				26		1	4,199
9	0					0																		0									
10	0					0																		0									
11	1				1	1	1						1								49		5,802	0								1	5,802
12	2	1		1		1	1	2	2			1					3		2	14	313	(1)	18,822	1		1				18			18,840

(注) 焼損面積は、床面積を表し、 ()内は、表面積を表す。

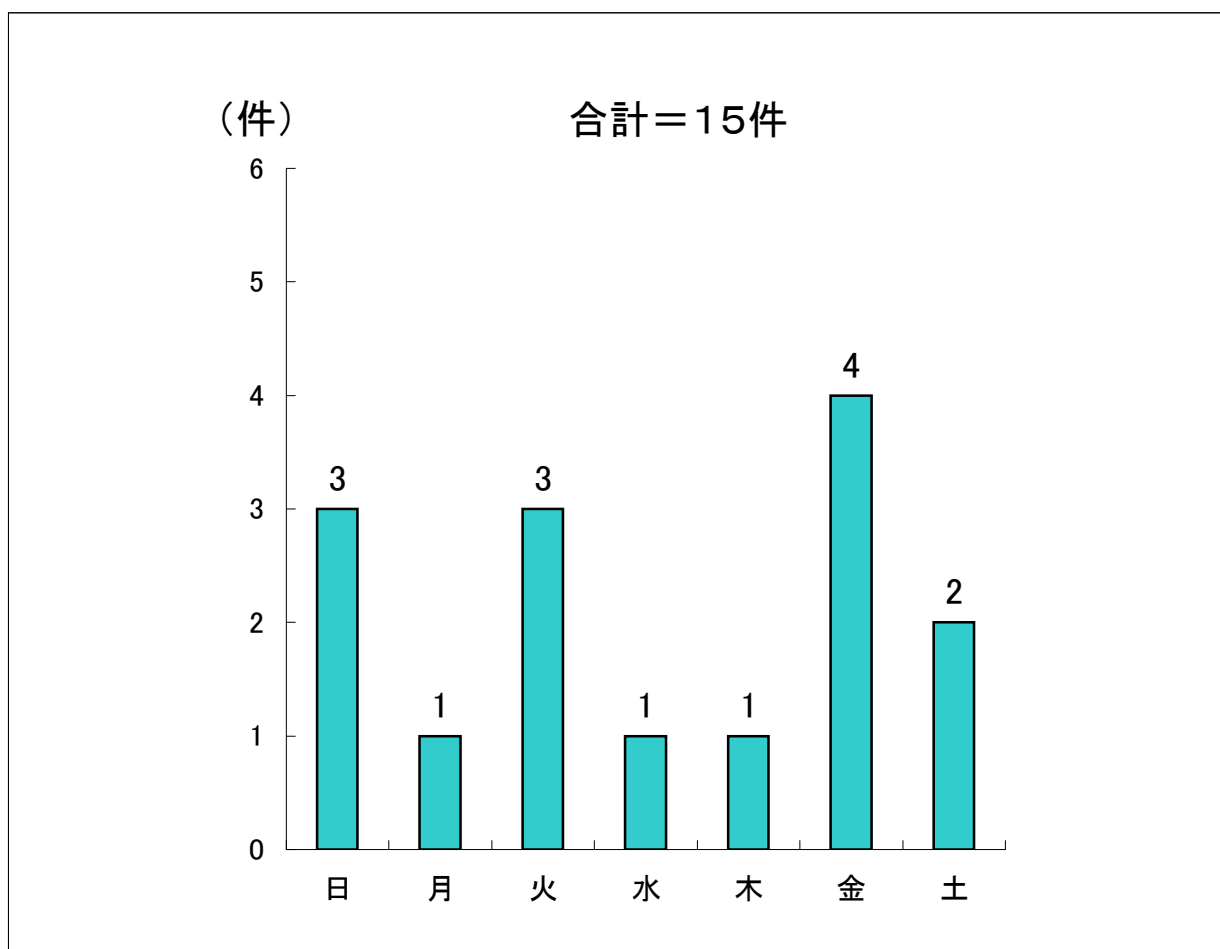
月別・日別火災発生件数

日 件数 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
15	1	0	2	0	3	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
1月	1	1																													
2月	2									1								1													
3月	1				1																										
4月	2				1																				1						
5月	0																														
6月	2						1						1																		
7月	1			1																											
8月	3			1		1																							1		
9月	0																														
10月	0																														
11月	1																	1													
12月	2												1		1																

月別・時間別火災発生件数

時間 件数 月	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1月	1	1																						
2月	2						1		1															
3月	1																							1
4月	2												1										1	
5月	0																							
6月	2								1						1									
7月	1												1											
8月	3	1													1					1				
9月	0																							
10月	0																							
11月	1	1																						
12月	2					1															1			

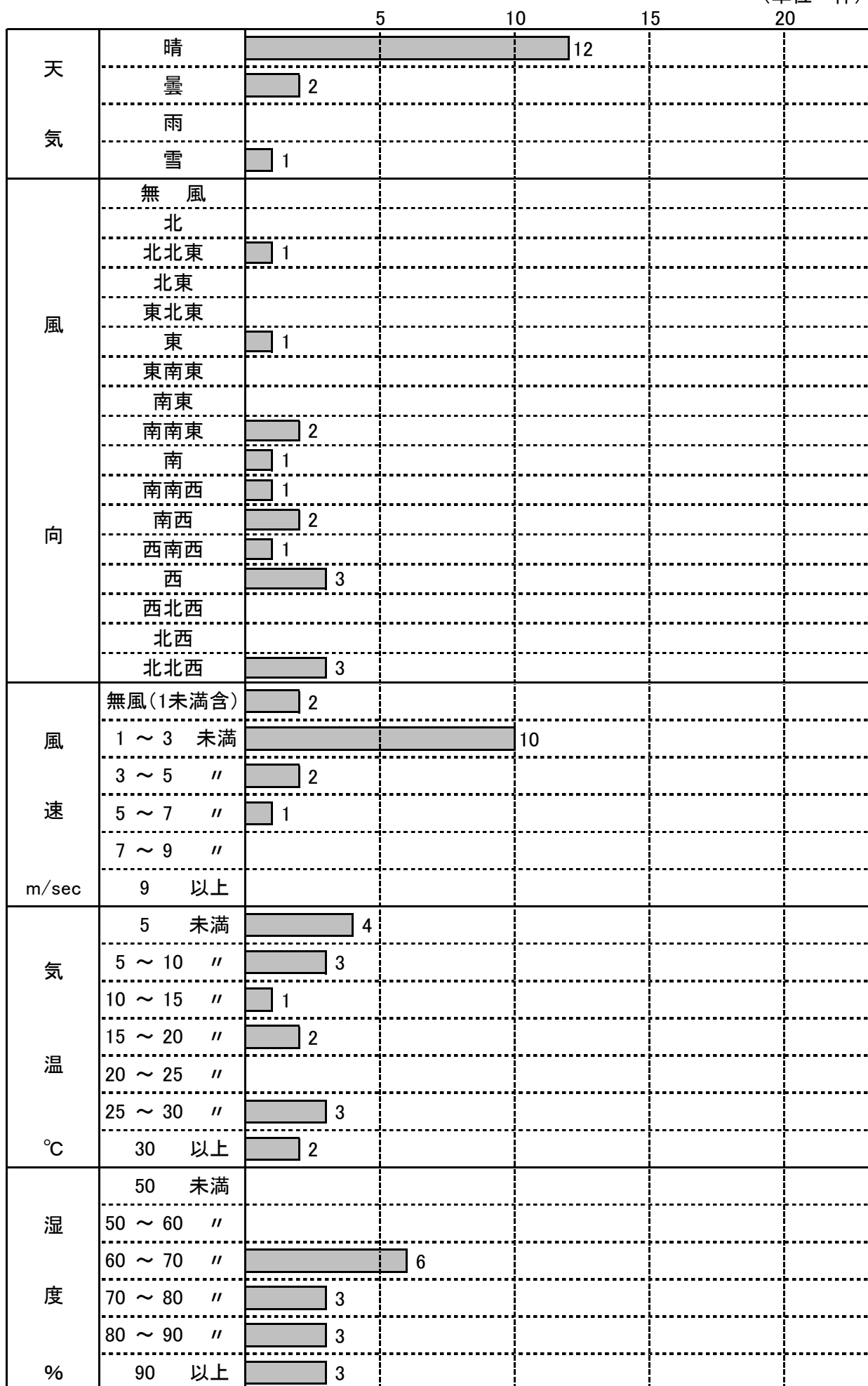
月別・曜日別火災発生件数



月	件数	曜日						
		日	月	火	水	木	金	土
	15	3	1	3	1	1	4	2
1 月	1			1				
2 月	2	1	1					
3 月	1				1			
4 月	2						1	1
5 月	0							
6 月	2						1	1
7 月	1					1		
8 月	3	1		1			1	
9 月	0							
10 月	0							
11 月	1			1				
12 月	2	1					1	

気象別火災発生件数

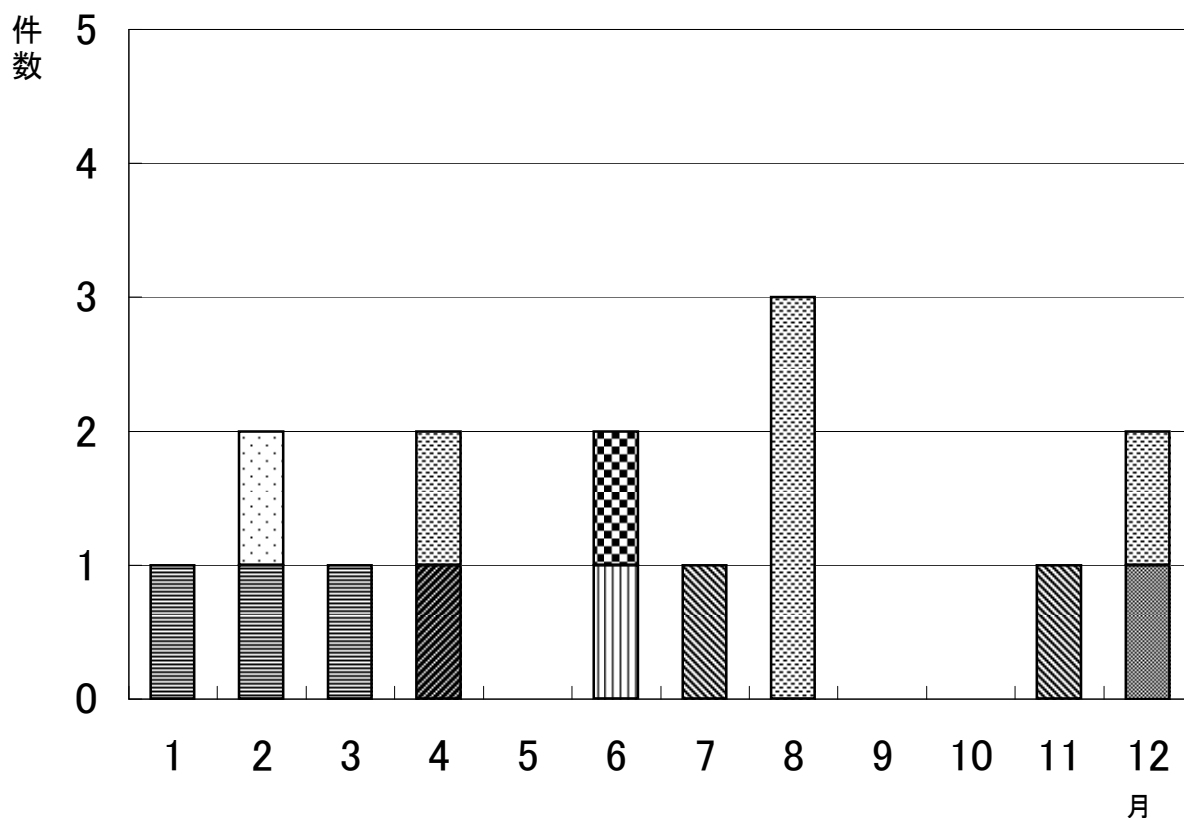
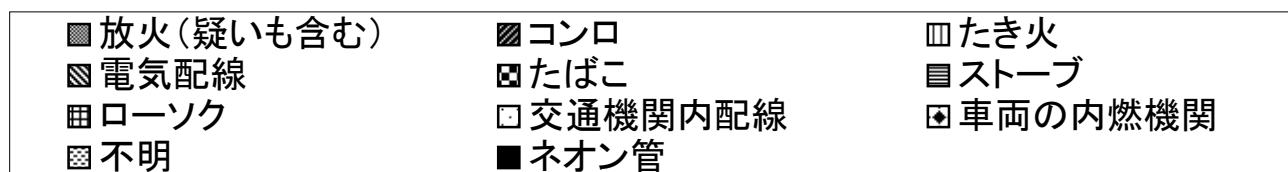
(単位＝件)



用途別・月別建物火災の出火件数

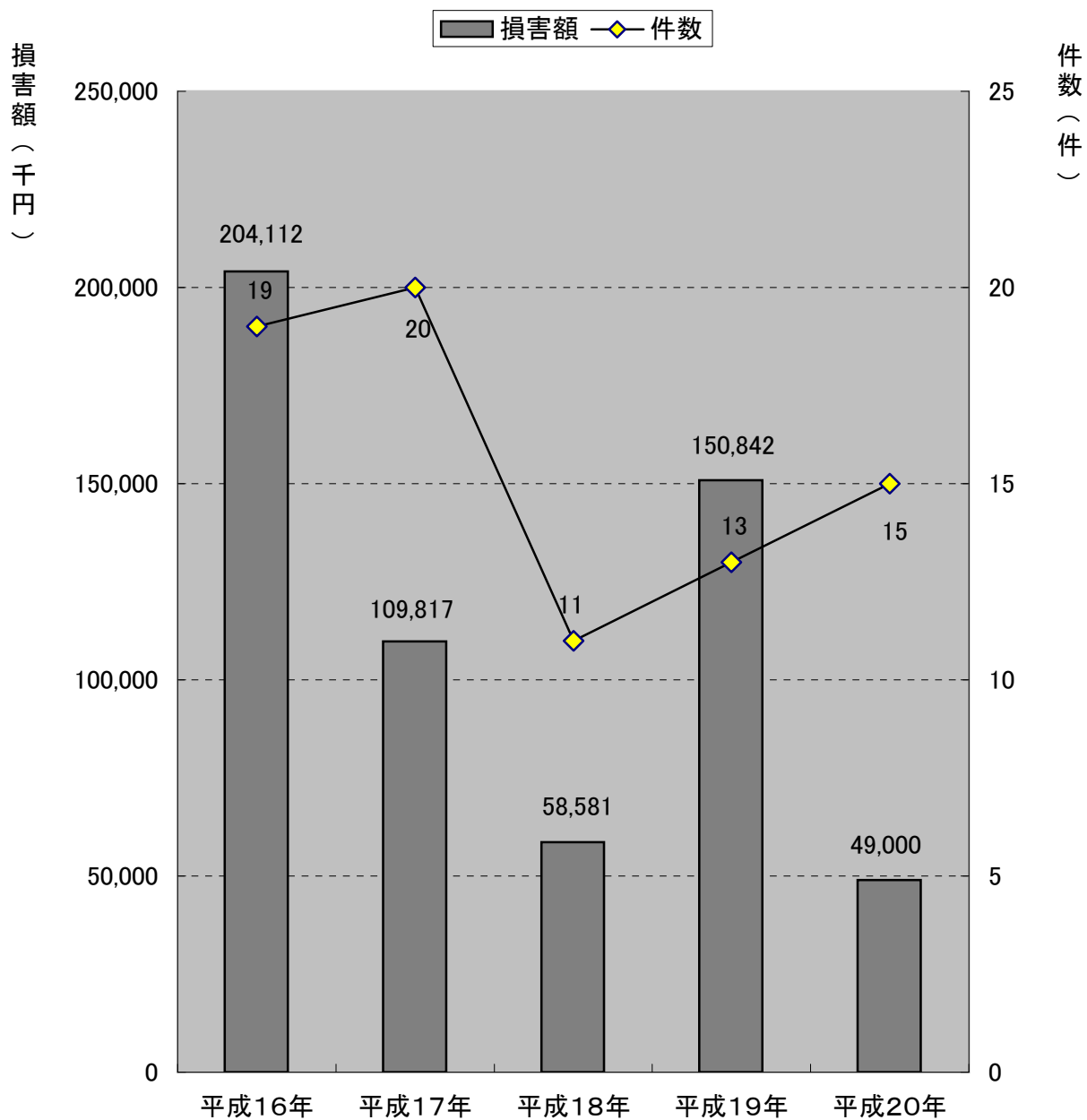
用 途		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		件数	12	1	1	1	2	0	2	1	2	0	0	1
住 居	専 用 住 宅	7	1	1	1	2				1				1
	共 同 住 宅・寄 宿 舎	0												
	併用住宅・附属建物	0												
劇 場・映 画 館・集 会 場		0												
キ ャ バ レ ー・飲 食 店		1											1	
遊 技 場・ダ ン ス ホ ー ル		0												
百 貨 店・マ ー ケ ッ ト		0												
旅 館 ・ ホ テ ル		0												
病 院 ・ 診 療 所		0												
学 校 ・ 幼 稚 園		0												
公 衆 浴 場		0												
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		0												
工 場 ・ 作 業 場		1							1					
倉 庫 ・ 納 屋		1								1				
事 務 所		2						2						
事 務 所 兼 倉 庫		0												
物 品 販 売 店 舗		0												
火 葬 場		0												
そ の 他		0												

出火原因別火災発生件数



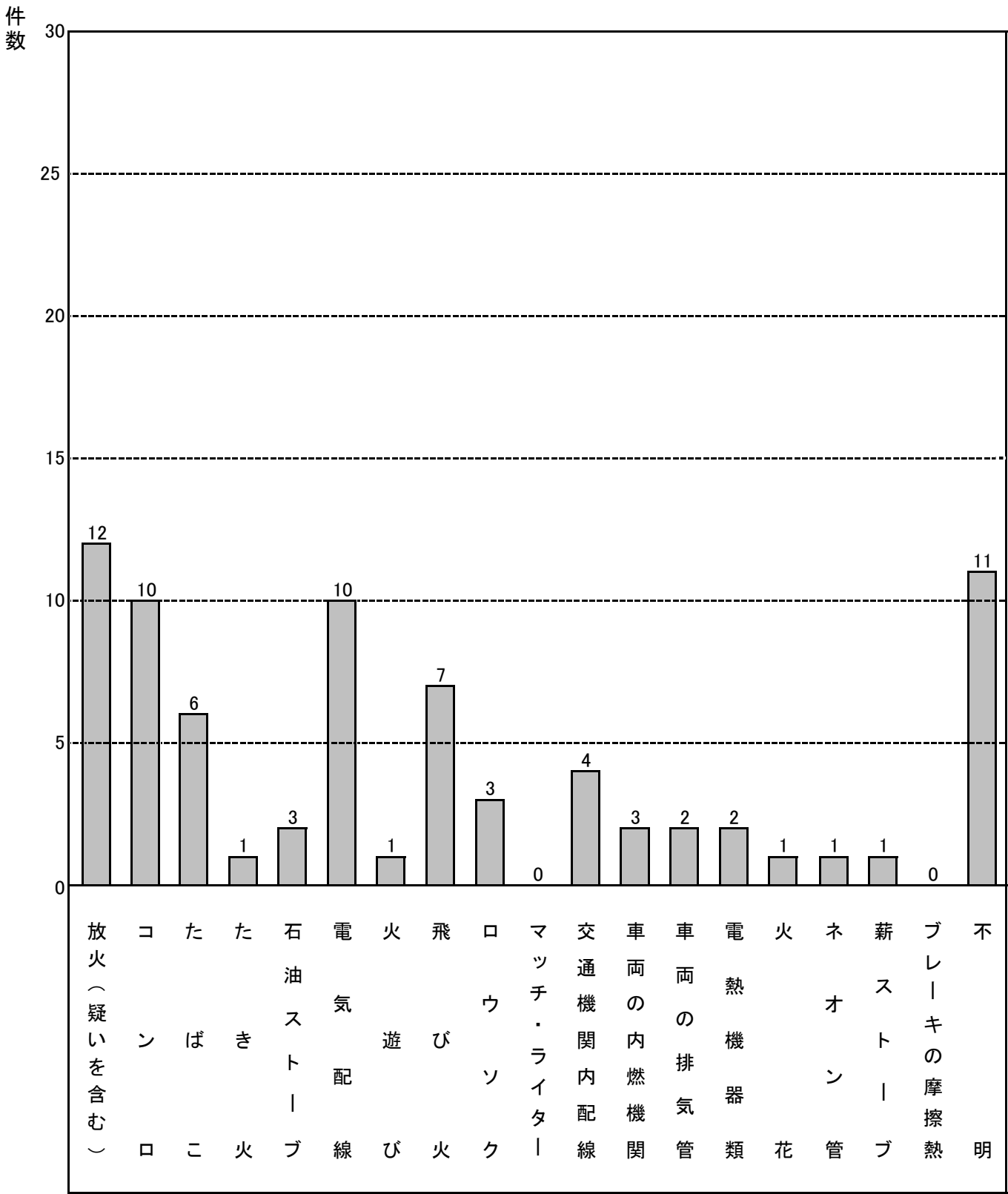
原因別 件数	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	15	1	2	1	2	0	2	1	3	0	0	1	2
放火(疑いも含む)	1												1
コンロ	1				1								
たき火	1						1						
電気配線	2							1				1	
たばこ	1						1						
ストーブ	3	1	1	1									
ローソク													
ネオン管													
交通機関内配線	1		1										
車両の内燃機関													
不明	5				1				3				1

過去5年間の火災件数と損害額及び焼損床面積比較表



年 別		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	5年間平均
件 数		19	20	11	13	15	16
損害額 (千円)	建 物	201,772	106,074	58,354	140,847	48,866	111,183
	林 野	0	0	0	0	0	0
	車 両	2,340	2,737	161	9,995	134	3,073
	その他	0	1,006	66	0	0	214
	合 計	204,112	109,817	58,581	150,842	49,000	114,470
建物焼損面積 (㎡)		1,221	1,709	649	1,427	839	1,169

過去 5 年間の出火原因別件数



救 急 概 況

平成20年中の救急出場件数は2,688件であり、前年より289件(9.7%)減少した。これは、当管内で1日平均7.36回救急車が出場したこととなる。

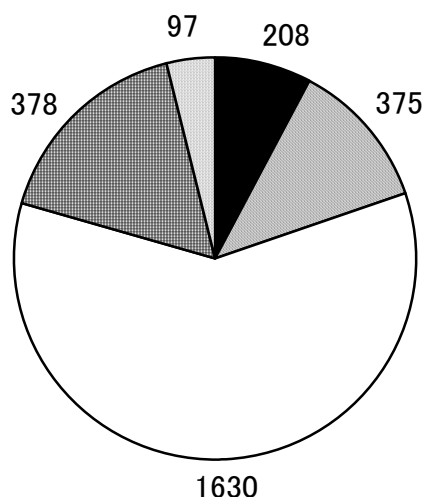
事故種別の上位は、急病が1,630件(60.6%)で半数以上を占め、次いで転院搬送378件(14.1%)、一般負傷375件(14.0%)、交通事故208件(7.7%)の順となっており、急病、転院搬送、交通事故は減少し、一般負傷は前年より増加している。

搬送人員は2,561人で、前年と比較すると276人(9.7%)減で、市民の23人に1人(全国平均26人に1人)が救急車を利用したことになる。(平成20年版消防白書調べ)

なお、搬送人員のうち65歳以上の高齢者は1,394人(54.4%)で、前年(1,532人)と比べ138人(9.0%)減少している。

救急出場件数

■交通事故 □一般負傷 □急病 ■転院搬送 □その他



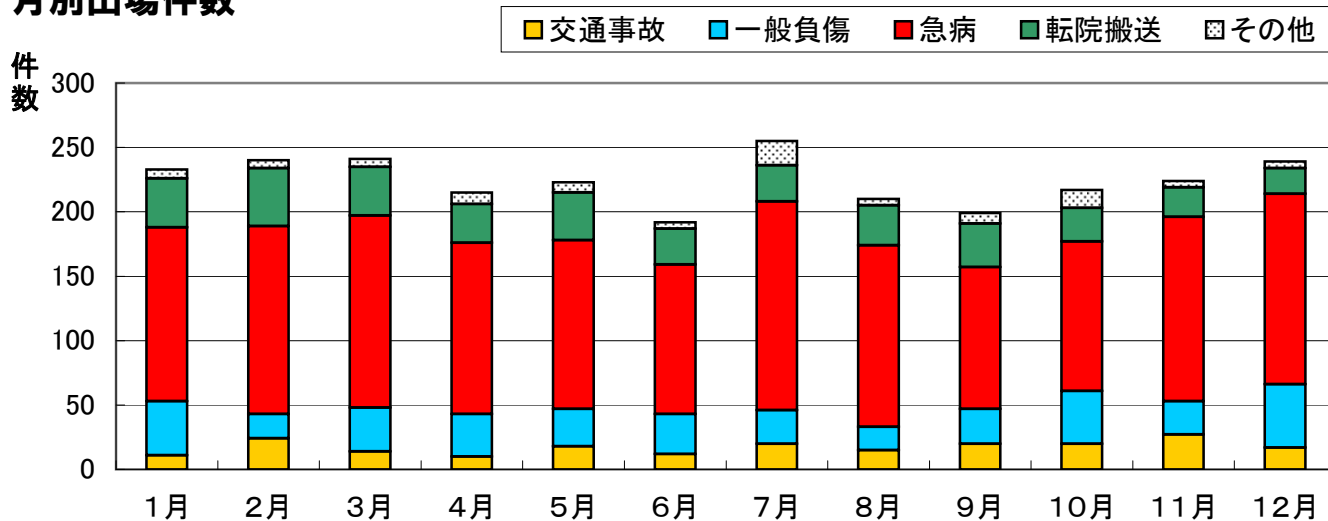
事故種別	出場件数	構成比(%)
交通事故	208	7.7
一般負傷	375	14.0
急病	1,630	60.6
転院搬送	378	14.1
その他	97	3.6
計	2,688	100.0

年間出場件数	2,688件
1日平均件数	7.36件
1日最多出場件数	17件
年間搬送人員	2,561人
救急利用率	市民約23人に1人
直方市人口(平成20年12月末現在)	59,267人

救急出場事故種別概要【搬送人員】

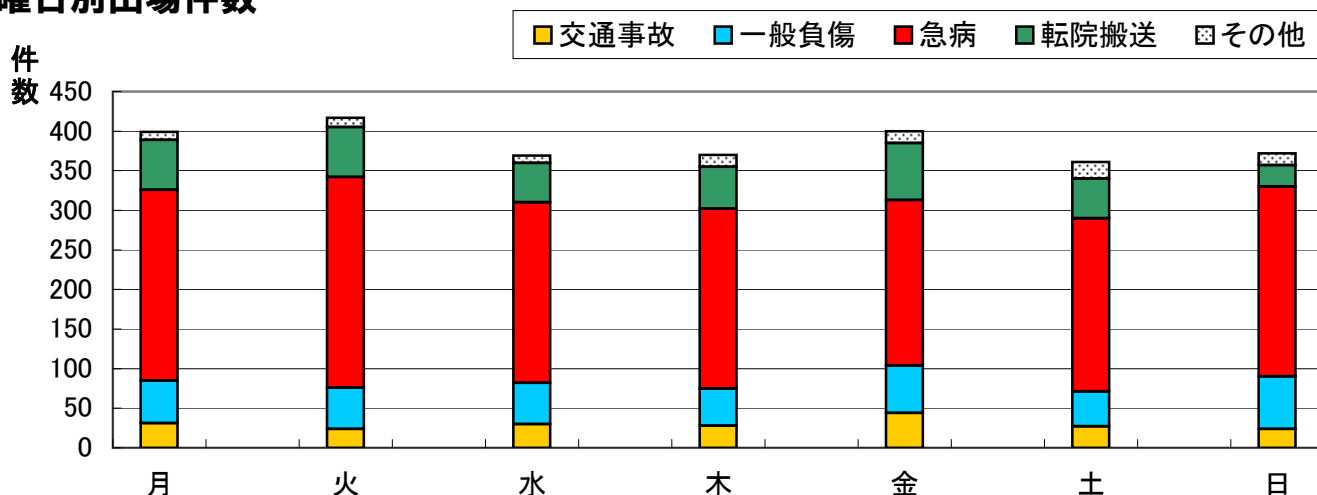
事故種別		平成19年中 出場件数	平成20年中 出場件数	増減	平成19年中 搬送人員	平成20年中 搬送人員	増減
火災		1	3	2	1	1	0
自然災害		0	0	0	0	0	0
水難		1	3	2	0	1	1
交通事故		242	208	△ 34	259	217	△ 42
労働災害		21	23	2	21	22	1
運動競技		14	15	1	13	16	3
一般負傷		347	375	28	333	349	16
加害		28	10	△ 18	22	8	△ 14
自損行為		39	40	1	31	31	0
急病		1,842	1,630	△ 212	1,718	1,537	△ 181
その他	転院搬送	439	378	△ 61	438	376	△ 62
	医師搬送	0	0	0	0	0	0
	資機材	0	0	0	0	0	0
	その他	3	3	0	1	3	2
計		2,977	2,688	△ 289	2,837	2,561	△ 276

月別出場件数



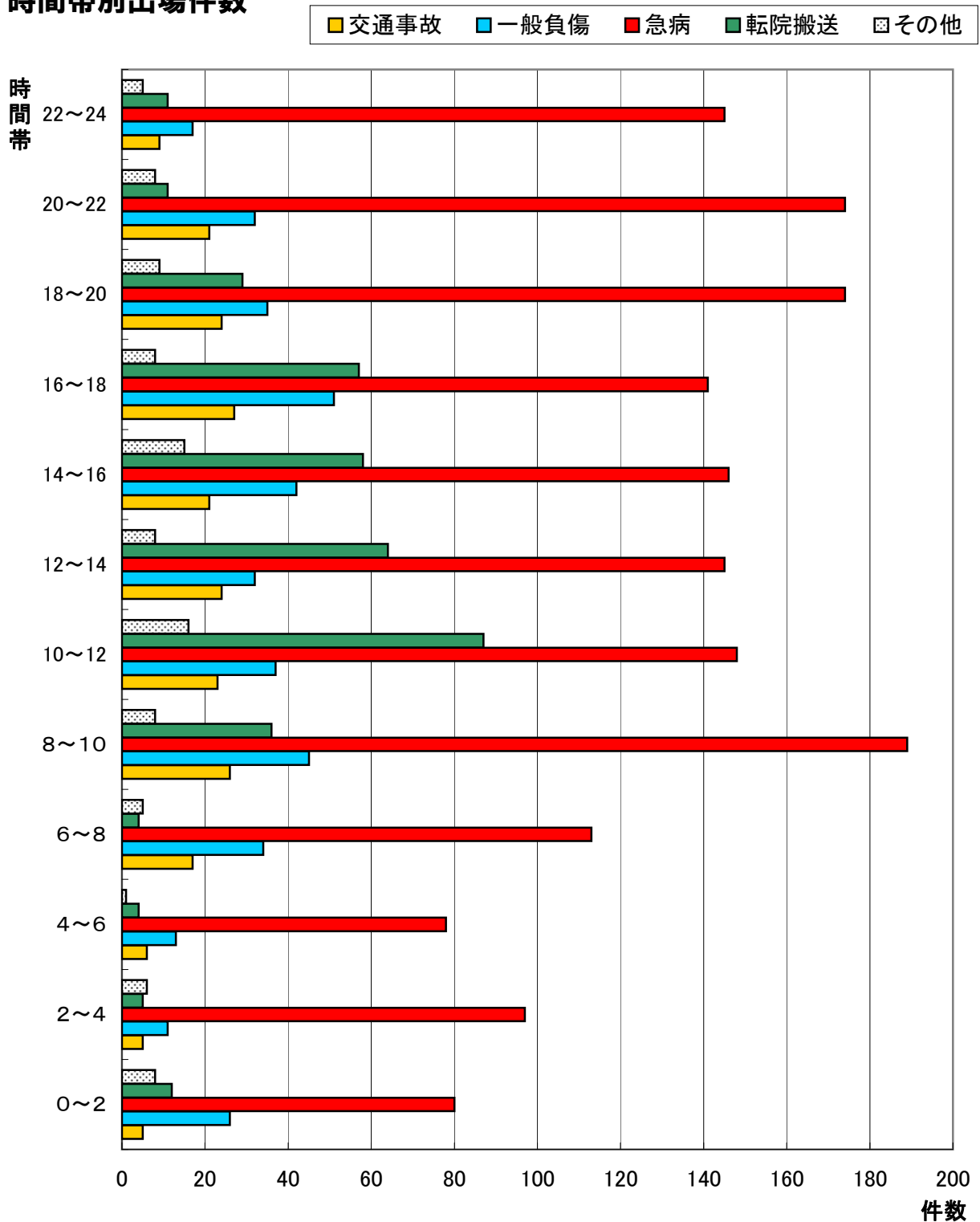
事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
交通事故	11	24	14	10	18	12	20	15	20	20	27	17	208
一般負傷	42	19	34	33	29	31	26	18	27	41	26	49	375
急病	135	146	149	133	131	116	162	141	110	116	143	148	1,630
転院搬送	38	45	38	30	37	28	28	31	34	26	23	20	378
その他	7	6	6	9	8	5	19	5	8	14	5	5	97
計	233	240	241	215	223	192	255	210	199	217	224	239	2,688

曜日別出場件数



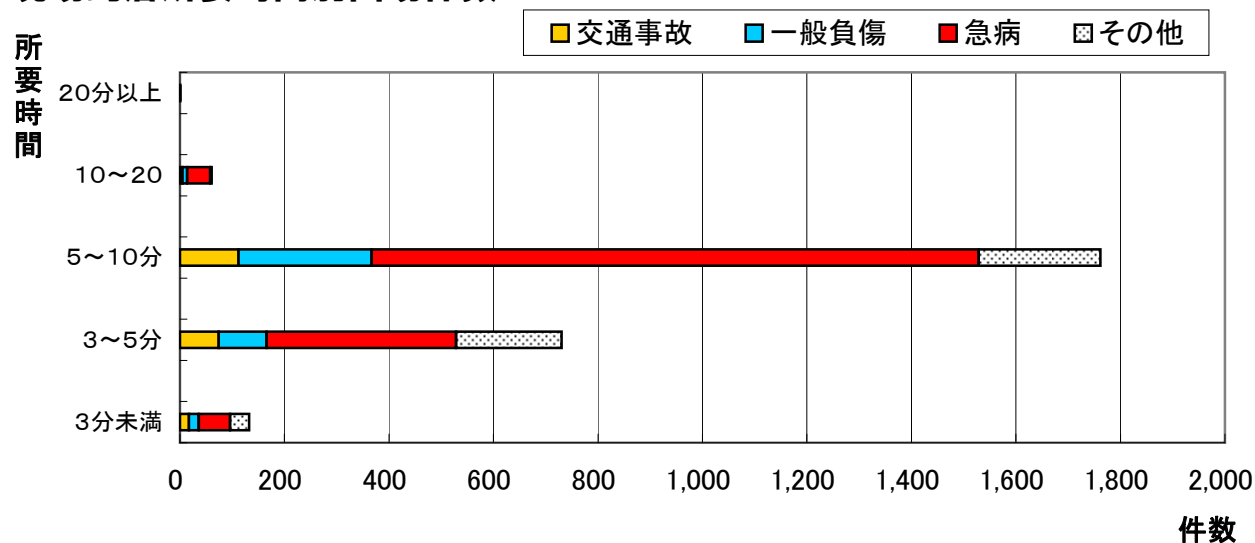
事故種別	月	火	水	木	金	土	日
交通事故	31	24	30	28	44	27	24
一般負傷	54	52	52	47	60	44	66
急病	241	266	228	227	209	219	240
転院搬送	63	63	50	53	72	50	27
その他	10	12	9	15	15	21	15
計	399	417	369	370	400	361	372

時間帯別出場件数



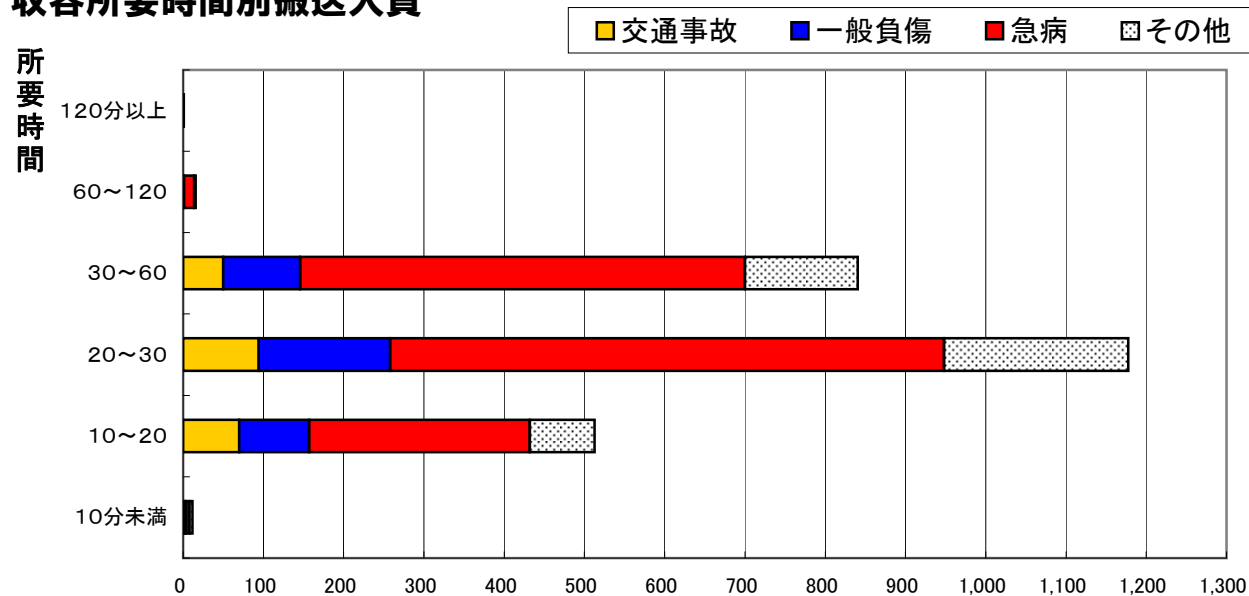
事故種別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
交通事故	5	5	6	17	26	23	24	21	27	24	21	9
一般負傷	26	11	13	34	45	37	32	42	51	35	32	17
急病	80	97	78	113	189	148	145	146	141	174	174	145
転院搬送	12	5	4	4	36	87	64	58	57	29	11	11
その他	8	6	1	5	8	16	8	15	8	9	8	5
計	131	124	102	173	304	311	273	282	284	271	246	187

現場到着所要時間別出場件数



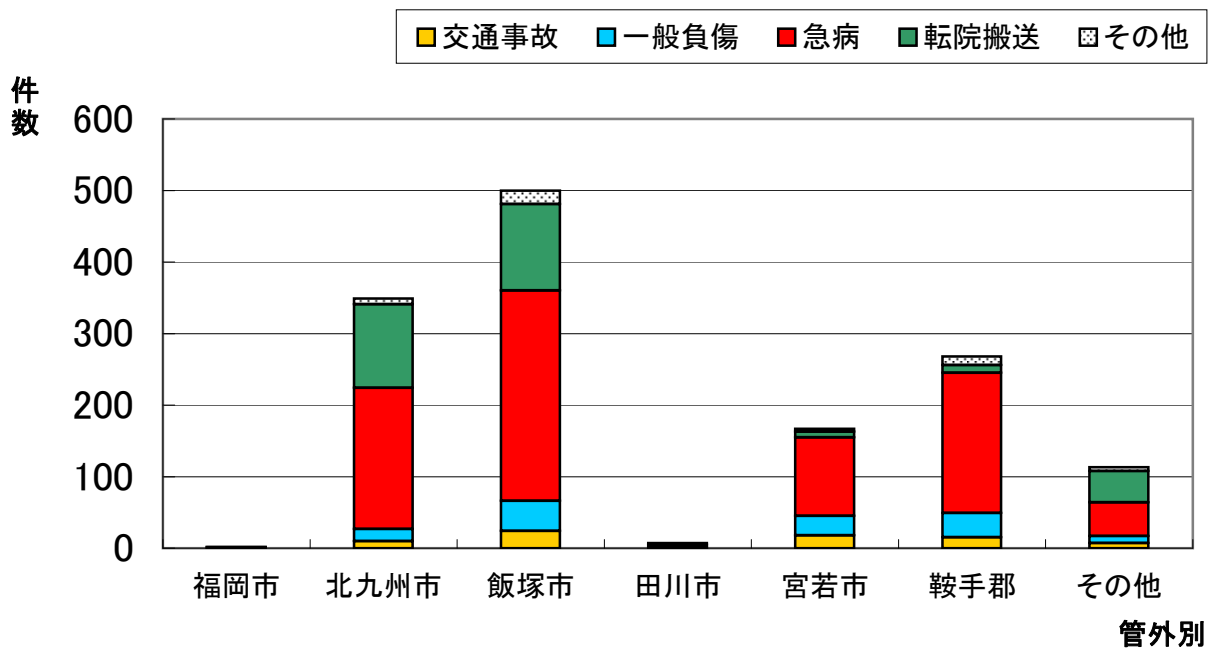
事故種別	3分未満	3～5分	5～10分	10～20	20分以上
交通事故	17	74	112	5	0
一般負傷	19	92	255	9	0
急病	60	363	1,162	44	1
その他	37	202	233	3	0
計	133	731	1,762	61	1

収容所要時間別搬送人員



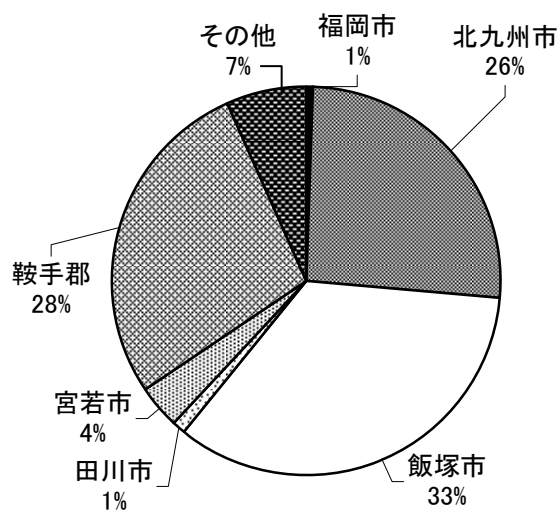
事故種別	10分未満	10～20	20～30	30～60	60～120	120分以上
交通事故	2	70	94	50	1	0
一般負傷	2	87	164	96	0	0
急病	4	275	690	554	13	1
その他	4	81	230	141	2	0
計	12	513	1,178	841	16	1

管外搬送件数

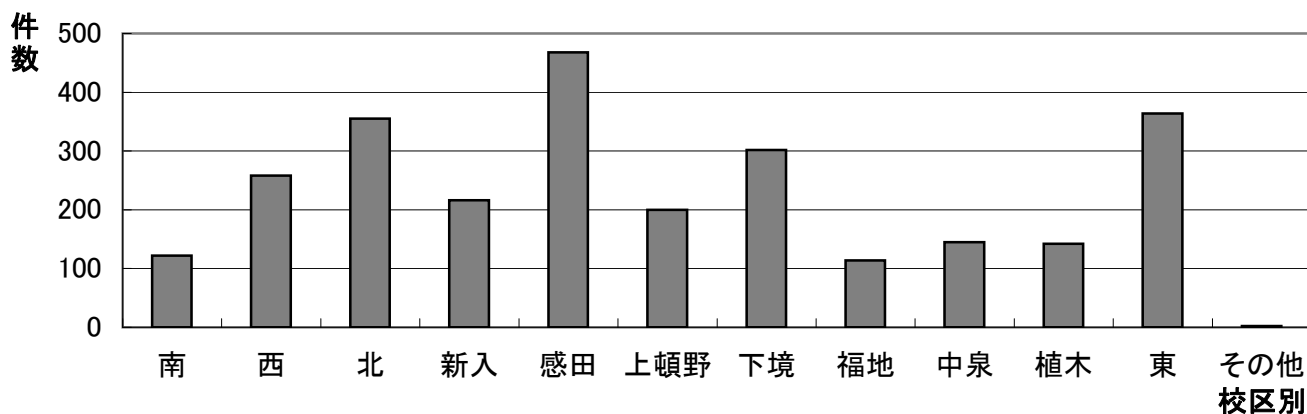


事故種別	福岡市	北九州市	飯塚市	田川市	宮若市	鞍手郡	その他	計
交通事故	0	10	24	1	18	15	7	75
一般負傷	0	17	42	0	27	34	10	130
急病	1	197	294	4	110	196	47	849
転院搬送	1	117	121	2	8	11	44	304
その他	0	8	19	0	4	12	5	48
計	2	349	500	7	167	268	113	1,406

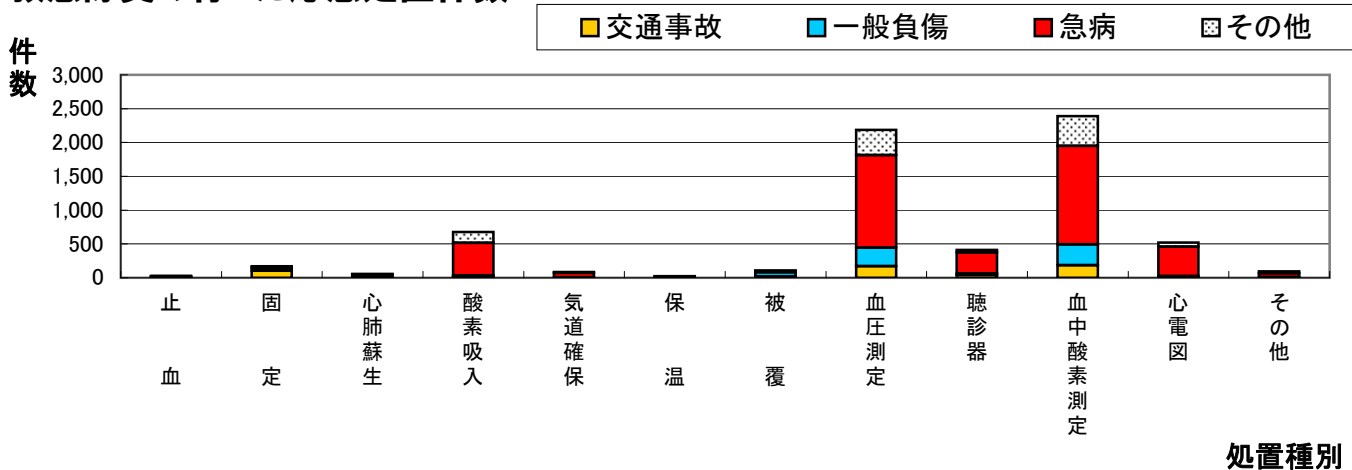
構成比



校区別出場件数



救急隊員の行った応急処置件数

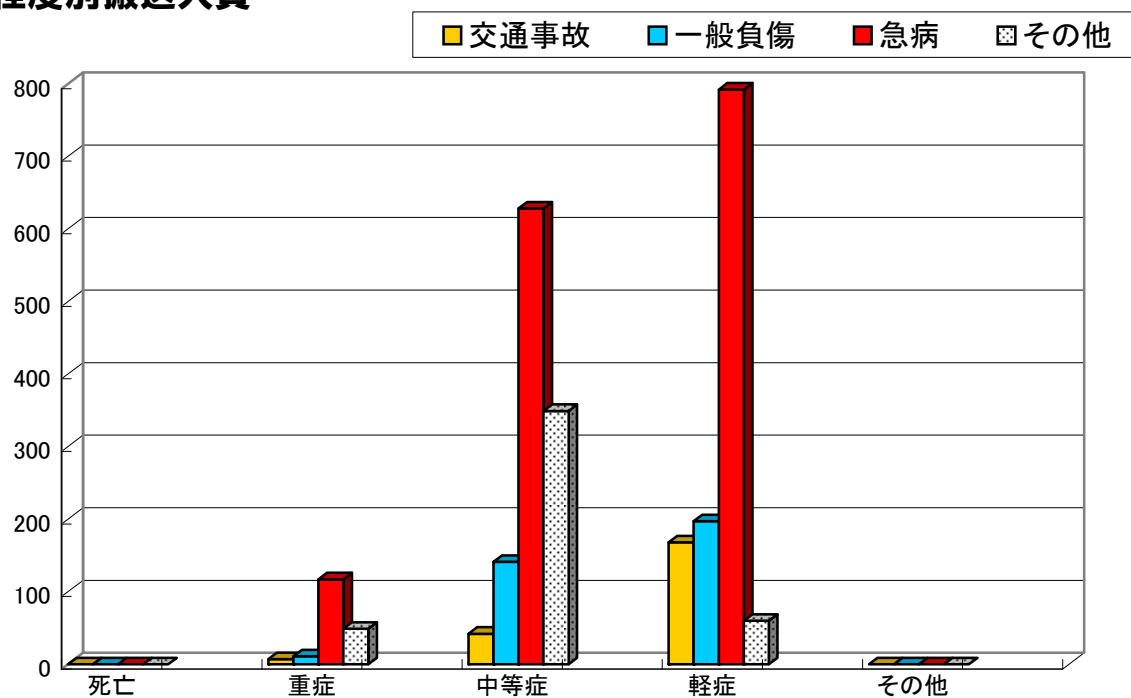


事故種別	止血	固定	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	血圧測定	聴診器	血中酸素測定	心電図	その他	計
交通事故	3	103	2	16	3	2	17	172	41	183	8	4	554
一般負傷	19	44	3	16	4	3	65	273	21	307	17	6	778
急病	4	6	43	486	64	17	5	1,366	314	1,460	434	56	4,255
その他	4	18	7	158	12	4	22	374	38	438	63	27	1,165
計	30	171	55	676	83	26	109	2,185	414	2,388	522	93	6,752

救急救命士による救命処置

事故種別	交通事故	一般負傷	急病	その他	計
器具を使用した気道確保	0	0	2	0	2
除細動	0	0	10	1	11
静脈路確保	0	0	0	0	0
薬剤投与	0	0	0	0	0

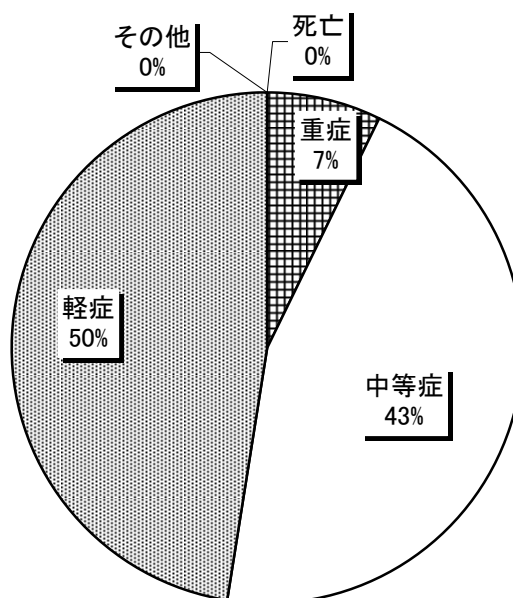
傷病程度別搬送人員



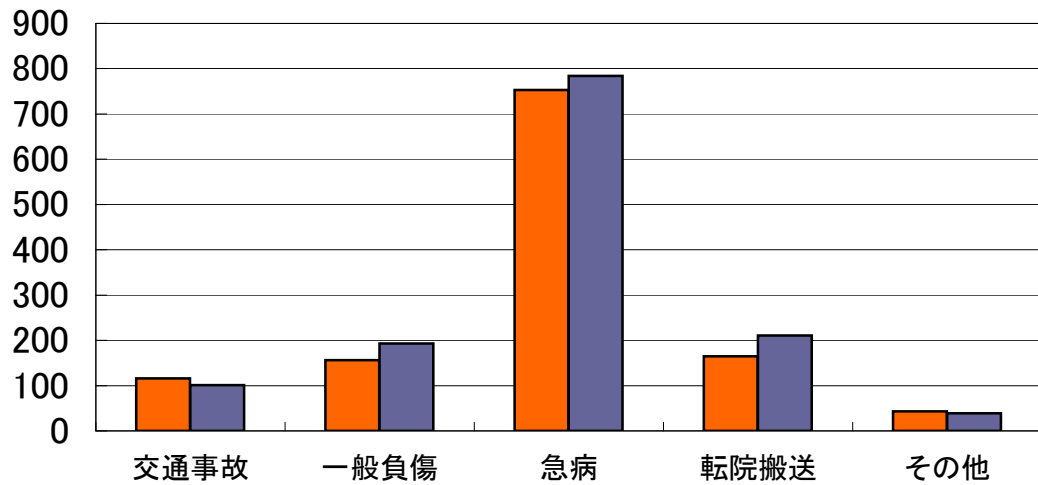
傷病程度

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他
交通事故	0	7	42	168	0
一般負傷	0	11	141	197	0
急病	0	117	628	792	0
その他	0	49	349	60	0
計	0	184	1,160	1,217	0

構成比

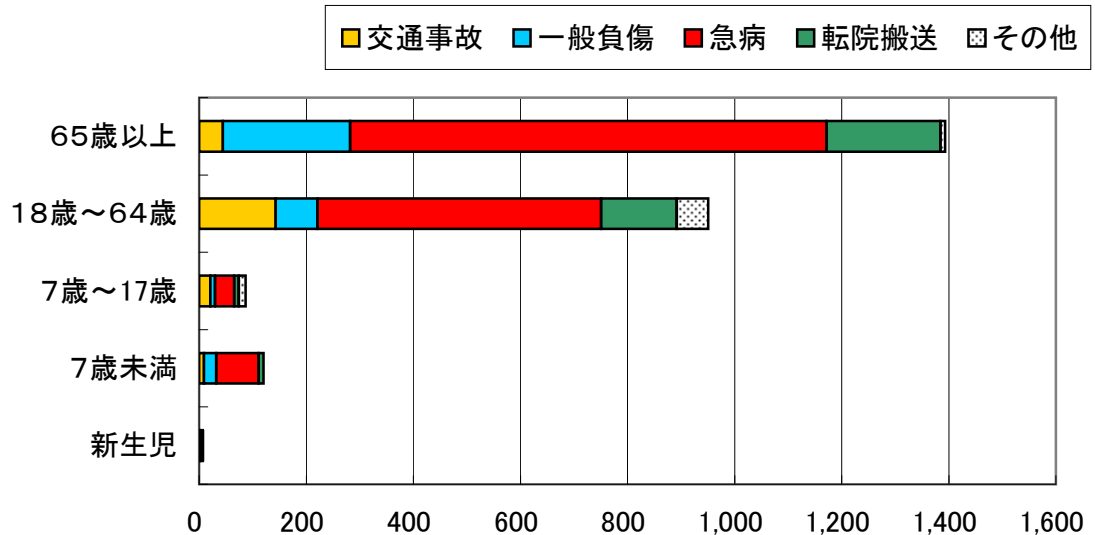


性別搬送人員



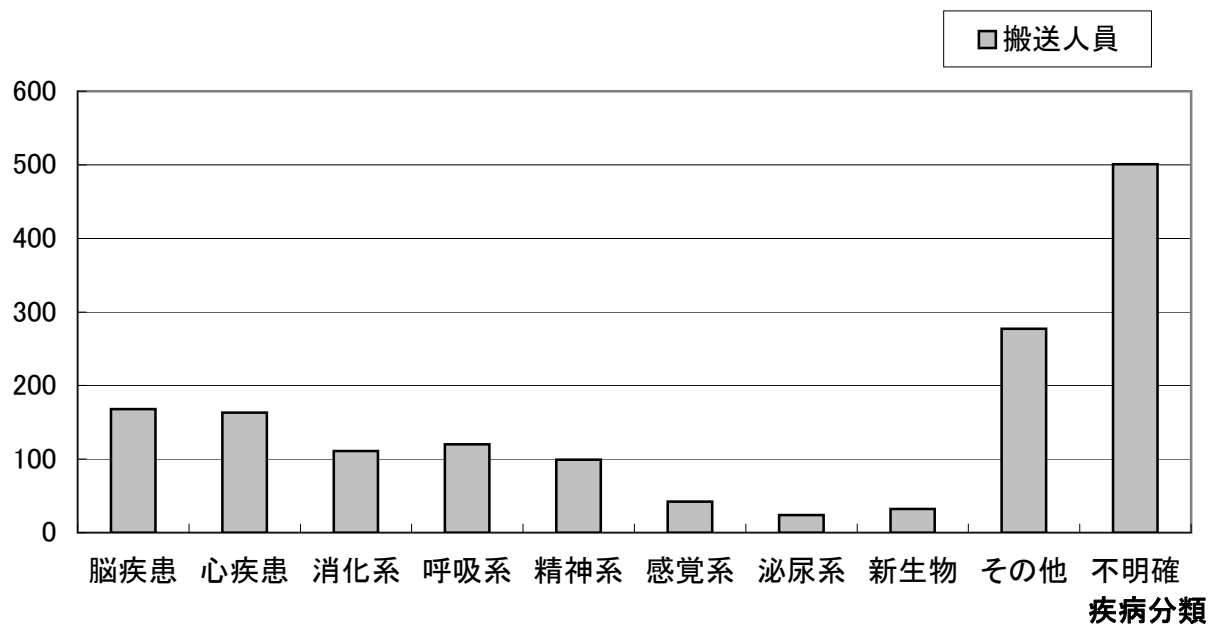
事故種別	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送	その他	計
男性	116	156	753	165	43	1,233
女性	101	193	784	211	39	1,328

年齢区分別搬送人員



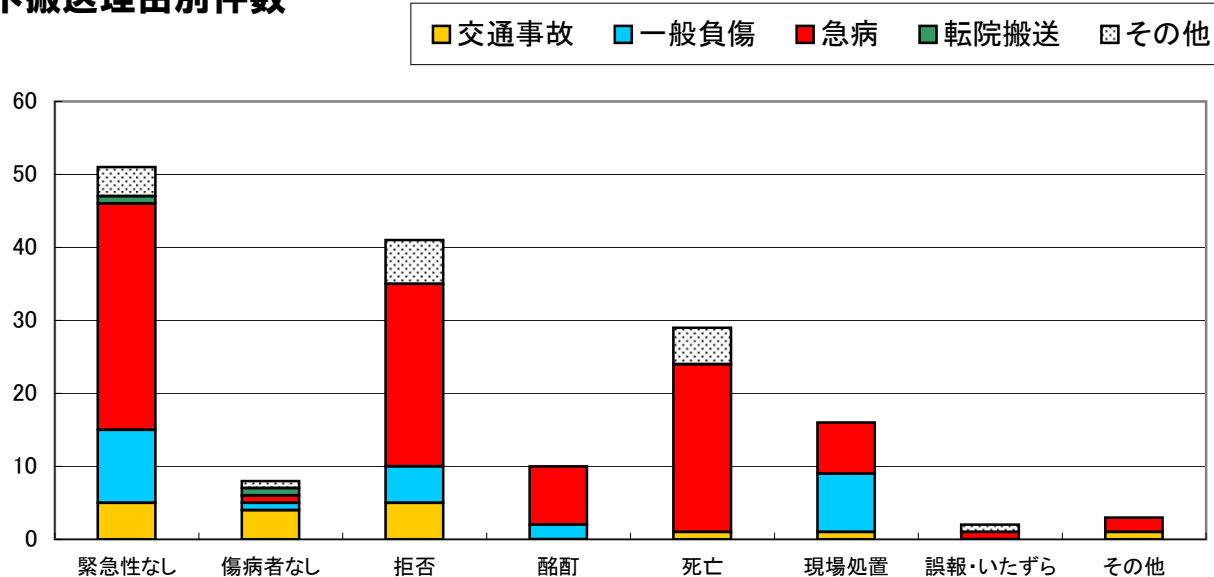
事故種別	新生児	7歳未満	7歳～17歳	18歳～64歳	65歳以上
交通事故	0	9	21	143	44
一般負傷	1	23	9	78	238
急病	2	79	36	530	890
転院搬送	4	10	8	141	213
その他	1	0	13	59	9
計	8	121	87	951	1,394

急病にかかる疾病分類別搬送人員



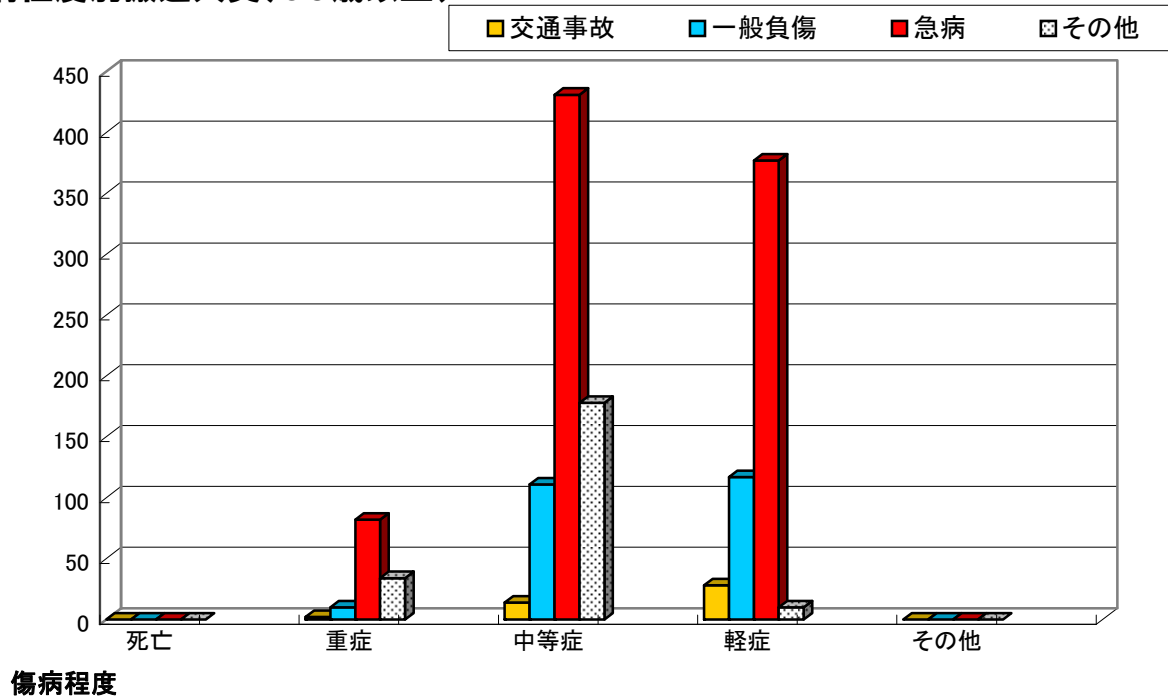
区分	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
搬送人員	168	163	111	120	99	42	24	32	277	501	1,537

不搬送理由別件数



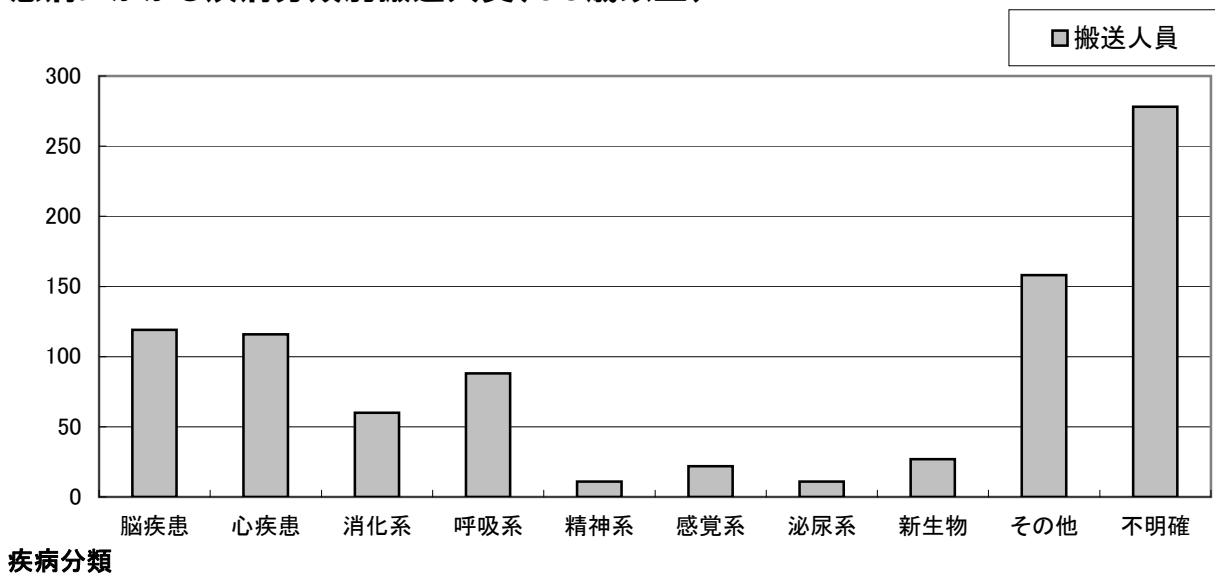
事故種別	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酩酊	死亡	現場処置	誤報・いたずら	その他	計
交通事故	5	4	5	0	1	1	0	1	17
一般負傷	10	1	5	2	0	8	0	0	26
急病	31	1	25	8	23	7	1	2	98
転院搬送	1	1	0	0	0	0	0	0	2
その他	4	1	6	0	5	0	1	0	17
計	51	8	41	10	29	16	2	3	160

傷病程度別搬送人員(65歳以上)



事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
交通事故	0	2	14	28	0	44
一般負傷	0	10	111	117	0	238
急病	0	82	431	377	0	890
その他	0	34	178	10	0	222
計	0	128	734	532	0	1,394

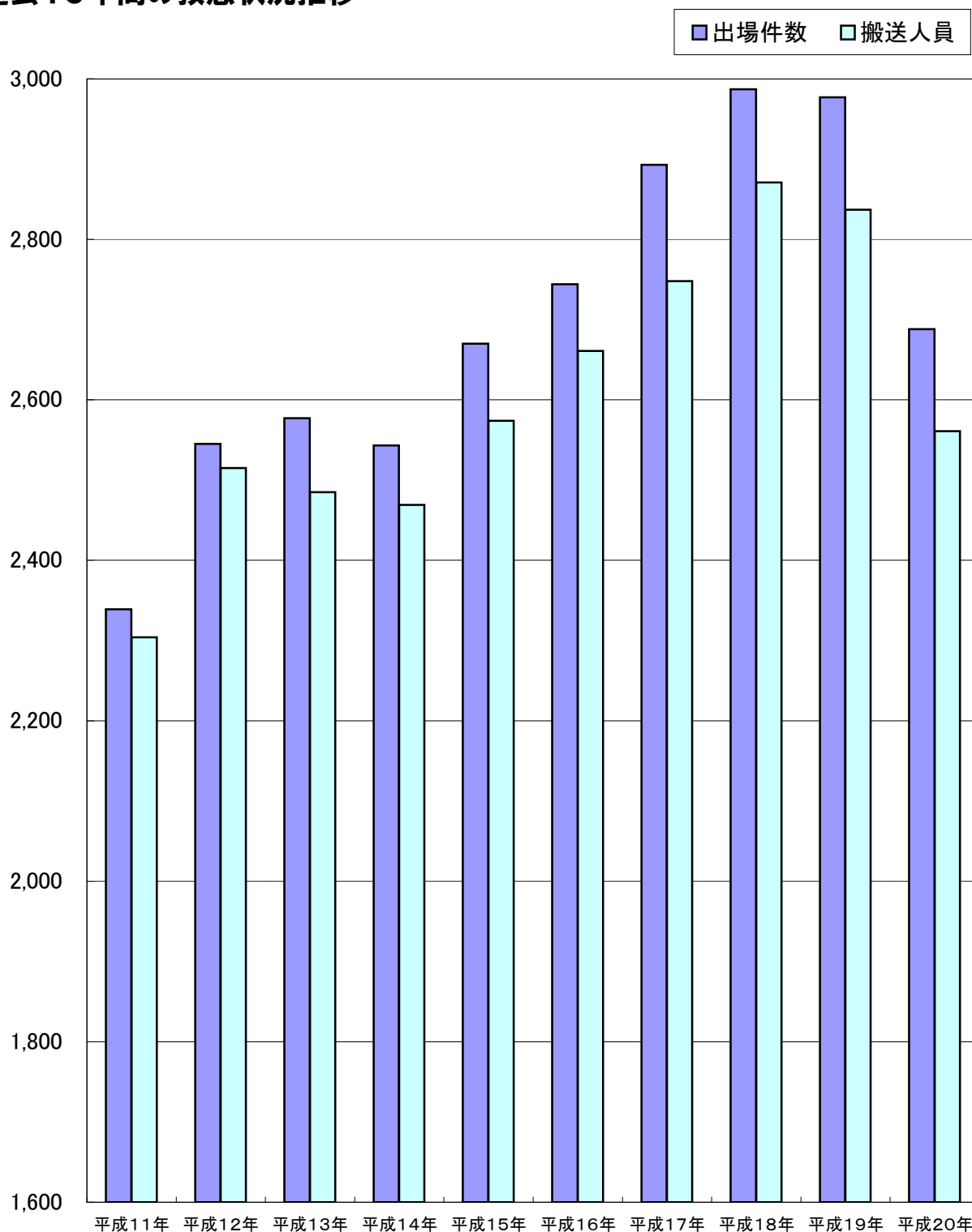
急病にかかる疾病分類別搬送人員(65歳以上)



区 分	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
搬送人員	119	116	60	88	11	22	11	27	158	278	890

本市における65歳以上の人口は15,416人(平成20年12月末現在)で全人口の26.0%を占める。搬送人員2,561人のうち65歳以上の高齢者は1,394人(54.4%)で前年1,532人と比べ138人(9.0%)減少している。

過去10年間の救急状況推移



年 区分	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
出場件数	2,339	2,545	2,577	2,543	2,670	2,744	2,893	2,987	2,977	2,688
搬送人員	2,304	2,515	2,485	2,469	2,574	2,661	2,748	2,871	2,837	2,561

救助概況

1 救助出動状況

平成20年中における出動件数は16件であり、前年より8件減少となっている。

事故種別は、交通事故4件(前年に比べ9件減少)、機械事故1件、水難事故4件、その他7件となっている。

救助人員は8人で、傷病程度は、死亡0人、重症1人、中等症4人、軽症3人で、入院加療を必要とする負傷者が前年に比べ4人減少している。

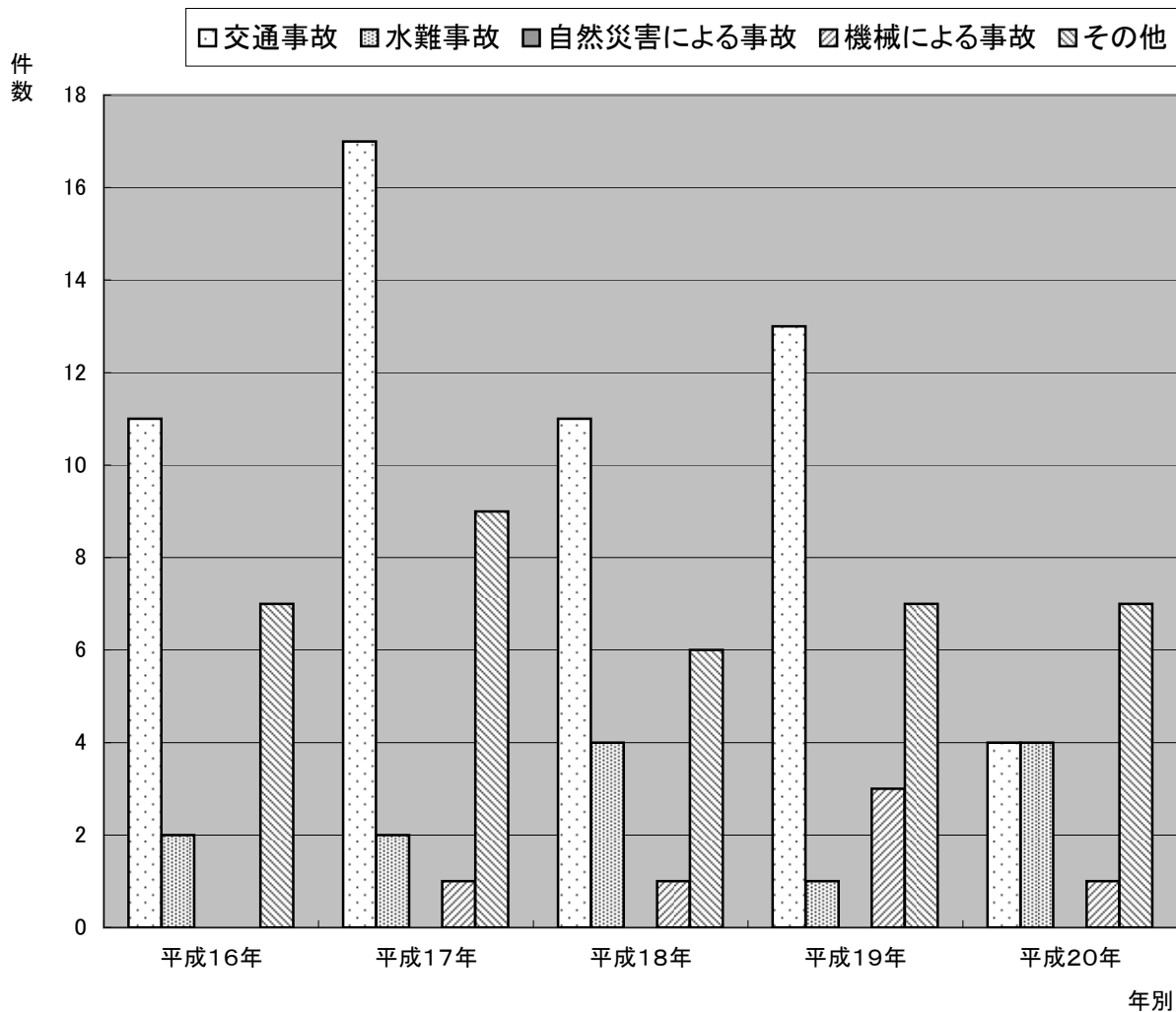
救助隊設置状況

救助隊数	救助隊員数		救助隊が使用する車両
救助隊1隊	1部 8人	18人	救助工作車（日野 ADG-GX7JGWA）
	2部 10人		

救助活動状況

区分 \ 事故種別		火災	交通事故	水難事故	機械事故	その他	計
救助出場件数(件)		0	4	4	1	7	16
救助活動件数(件)		0	1	2	1	4	8
救助人員		0	3	1	1	3	8
出動人員	消防隊員	0	6	0	0	0	6
	救助隊員	0	12	11	4	25	52
	救急隊員	0	15	13	3	21	52
	その他	0	3	10	0	0	13
	計	0	36	34	7	46	123
出動車両	救助工作車	0	4	3	1	6	14
	救急車	0	5	4	1	7	17
	タンク車	0	2	0	0	0	2
	その他の車両	0	2	5	0	1	8
	計	0	13	12	2	14	41

過去5年間の救助出動件数



事故種別 \ 年別	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
火災	0	0	0	0	0
交通事故	11	17	11	13	4
水難事故	2	2	4	1	4
自然災害による事故	0	0	0	0	0
機械による事故	0	1	1	3	1
建物等による事故	0	0	0	0	0
ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0
爆発事故	0	0	0	0	0
その他	7	9	6	7	7
計	20	29	22	24	16